

□ KING JIM

デジタルメモ「ポメラ」

DM30

取扱説明書

ポメラ

ご使用前の準備

基本操作

テキストの編集

ファイル/フォルダの管理

ツールを活用する

画面表示を設定する

書式の設定

本機の設定

付録

はじめに

このたびは、デジタルメモ「ポメラ」DM30をお買い上げいただき、ありがとうございます。

「ポメラ」をお使いいただく際には、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

「ポメラ」を本書と共に末永くご愛用いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

- 本機を、テレビ・ラジオなどの電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本機を日本国外に持ち出して使用する際は、その国 / 地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

注意

- 本機やパソコンなどに保存したデータは、長期間・永久的な保存はできません。本機の故障、修理、検査、電池の消耗などに起因するデータの損失及び損失利益、本機の使用を原因としたパソコンの故障、修理、検査、それらに起因するデータの損失の障害及び損失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KINGJIM、ポメラ、pomeraは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

FlashAirは、株式会社東芝の商標または登録商標です。

その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意・・・必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出しで見られる場所に保管してください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使いかたによって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

 危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
 警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	ⓘ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

危険

本体について

-  高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下）での本機の使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。
-  釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。漏液・破裂・発火・発熱の原因となります。

電池の取り扱いについて

-  外傷、変形の著しい電池は使用しないでください。電池を漏液・発熱・破裂させるおそれがあります。
-  電池の内容液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

警告

本体について

-  埃の多い場所、激しい振動のある場所、強い磁気のある場所、腐食性ガスの発生する場所などでの使用や保管は避けてください。故障の原因となります。
-  本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
-  本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。
-  本機を濡らしたり、濡れた手で操作をしないでください。感電の原因となります。

警告

電池の取り扱いについて

-  電池の+と-を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
-  電池の内容液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
-  新しい電池と、使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。
-  使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。
-  長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。
-  電池はお子様飲み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
-  エネルギーを使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。

その他

-  磁気カード（キャッシュカード、クレジットカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。本機の磁気により磁気カードが使えなくなることがあります。
-  磁気（磁力）で医療電子機器や周辺の電子機器などに影響を及ぼすおそれがありますので近づけないでください。ペースメーカー等に磁気（磁力）の影響をあたえることがあります。

注意

電池の取り扱いについて

-  電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

取り扱い上のご注意

本体について

- 無理な力がかかると、画面や内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に破損がなくても保証の対象外となります。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン / シンナー / アルコール / 洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 画面を強く押す、叩くなど、故意に強い衝撃を与えたり、強くこすったりしないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 使用中に無理なキー操作をおこなうと、動作が停止する、データが失われるなど、通常と異なる動作をする場合があります。

SD カードについて

- 端子部に直接触れたり、金属や固いものを当てたりしないでください。静電気によりデータが破壊・消失するおそれがあります。
- 分解や改造をしたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 高温・多湿な場所、結露する場所、埃が多い場所、静電気、電気ノイズ、強い磁気がある場所での使用や保管は避けてください。
- アップデートやデータの読み出し中に機器の電源を落としたり、機器からSDカードを引き抜いたりしないでください。動作が停止する、データが失われる、通常と異なる動作をする場合があります。
- 廃棄の際は、お住まいの自治体のルールに沿って廃棄してください。
- データの読み書きをしている間、SDカードを抜き差ししないでください。保存されたデータが破損するおそれがあります。

画面（電子ペーパー）についてのご注意

- 本機の画面には、表示が見やすい電子ペーパーを採用しております。
電子ペーパーの特性上、表示切替がやや遅く、また画面に多少の残像が生じることがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面の残像は、メニュー画面の「表示」－「リフレッシュ」を選択すると消去できます。F12 キーを押しても残像を消去できます。（→ 92 ページ「画面をリフレッシュする」）

著作権に関するご注意

本機を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

本機に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変/改良することはできません。

それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したもののについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非/時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがありますので、あらかじめご了承ください。

「明鏡国語辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」は株式会社大修館書店の著作物です。

目次

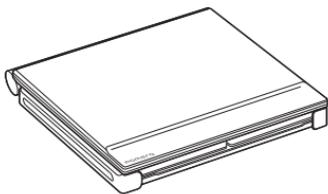
はじめに	1	5 ツールを活用する	64
安全上のご注意・必ずお守りください!	2	電子辞書を閲覧する	64
画面(電子ペーパー)についてのご注意	6	電子辞書の内容をコピーする	67
著作権に関するご注意	6	QRコードを作成する	69
おことわり	6	日付メモ(カレンダー)を作成する	71
目次	7	表を作成する	74
1 ご使用前の準備	9	表を編集する	75
セット内容の確認	9	パソコンと接続する	76
各部の名称	10	パソコンでボメラ内のファイルを開く	77
本体	10	本機とパソコンの間でファイルを コピー/移動する	78
ステータスバー	11	本機をパソコンから取り外す	79
電池をセットする(別売り)	12	FlashAirを使用する	81
コイン電池の交換について	13	パソコンやスマートフォンにファイルを 転送する	82
SDカードをセットする(別売り)	15	6 画面表示を設定する	83
キーボードを開く/閉じる	16	全画面表示する	83
2 基本操作	18	アウトライン表示する	84
電源を入れる/切る	18	グリッドを表示する	87
オープンパワーオンについて	19	編集するテキストの行数と字数を指定する	88
オートパワーオフについて	19	行番号を表示する	89
キーボードの基本操作	20	表示方向を切り替える	90
メニュー画面を表示する	22	背景色を白黒反転する	91
メニュー画面の基本操作	22	画面をリフレッシュする	92
メニュー画面でできること	23	7 書式の設定	93
3 テキストの編集	30	ATOKを設定する	93
テキストを入力する	30	ATOKの入力方法などを設定する	94
カーソルキーでの範囲選択	30	表示文字サイズを設定する	95
テキストを検索する	32	行間サイズの設定をする	96
検索したテキストを置き換える	33	起動時のカーソル位置を設定する	97
指定した行へジャンプする	35	制御文字を表示する	98
定型文を設定する	36	句読点入力の自動変換を設定する	99
定型文を挿入する	38	8 本機の設定	100
付箋文を使う	39	日時を設定する	100
Shift_JISコードで文字を入力する	41	電源を管理する	101
タイムスタンプを挿入する	42	使用する電池を設定する	101
単語登録を管理する	43	オートパワーオフを設定する	102
単語を登録する	43	オープンパワーオンを設定する	103
登録した単語を編集する	45	パワーオフ画面を設定する	104
登録した単語をSDカードに保存する	46	ファイルの設定をする	105
SDカードに保存した辞書データを 本体へ読み込む	47	ファイルの保存方法を設定する	105
ATOKオプションを設定する	48	デフォルトのファイル名を設定する	106
PC版ATOKユーザー辞書を インポートする	48	起動時の画面を設定する	107
補助辞書を設定する	50	パスワードを設定する	108
4 ファイル/フォルダの管理	52	パスワードを変更する	110
ファイルを保存する	52	キーボードの機能を設定する	112
フォルダを作成する	54	キー割付を設定する	112
ファイルをコピー/移動する	56	ショートカットキーの機能を 入れ替える	114
ファイル/フォルダを削除する	58	CapsキーとCtrlキーの機能を 入れ替える	115
ファイル/フォルダ名を変更する	60	修飾キーをロックする	116
ファイル/フォルダを検索する	62		

本体の言語を切り替える	118
ヘルプを表示する	119
メモリをフォーマットする	120
本体メモリをフォーマットする	120
SD カードをフォーマットする	122
本体情報を表示する	124
ソフトウェアのアップデートについて	124
9 付録	125
ショートカットキー一覧	125
ボメラショートカットキー全般	125
MS-IME ショートカットキー	128
ATOK ショートカットキー	130
ローマ字入力表	132
単語登録に使えない文字	134
「読み」登録に使えない文字	134
「読み」登録の先頭に使えない文字	135
故障かなと思ったら	136
索引	138
仕様	140
アフターサービス	142
保証規定 / 保証書	143

1 | ご使用前の準備

セット内容の確認

本体



リチウムコイン電池 (CR2032)
※本体にセットされています。絶縁フィルムを抜いてからご使用ください。



取扱説明書 (本書 / 保証書付)



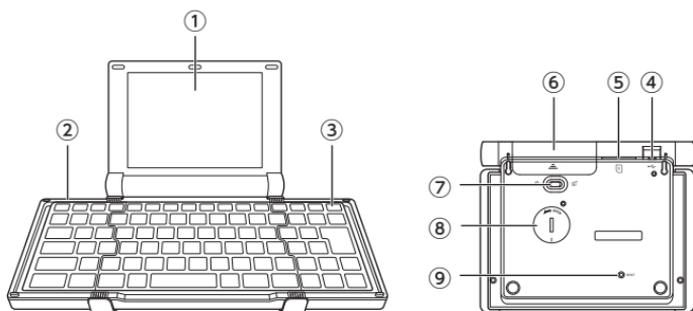
■別売品のご案内

「ポメラ」専用ケース DMC6



各部の名称

本体



① 画面（電子ペーパー）

テキストファイルの編集画面やメニュー画面を表示します。

② キーボード

キーを押して文字を入力します。（→ 30 ページ）

③ 電源ボタン

電源を入れる、または切ることができます。

④ micro USB ポート

お手持ちの micro USB ケーブル（A-microB タイプ）を接続し、本機をパソコンと接続します。

※ micro USB ケーブルはデータ転送できるものをご使用ください。充電専用
のものは使用できません。

⑤ SD カードスロット

SD カードをセットします。

⑥ 電池カバー

カバーを外し、単 3 形電池の取り付け、取り外しをおこないます。（→ 12 ページ）ご購入直後は、電池はセットされていませんので、ご使用前に必ず電池をセットしてください。

⑦ 電池カバーロック

電池カバーをロックします。ロックを解除している状態では本機の電源は入りません。電源を入れたまま、電池カバーロックを解除した場合、警告メッセージが表示され、本機の電源は自動的に切れます。

⑧ コイン電池カバー

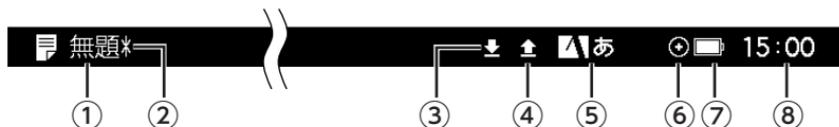
日時データのバックアップに使用するコイン電池がセットされています。カバーを外し、コイン電池の取り付け、取り外しをおこないます。(→ 13 ページ)
ご購入直後は、絶縁フィルムがはさまれています。単 3 形電池をセット後に必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。

⑨ リセットスイッチ

リセットスイッチを押すと、再起動します。編集集中の文章は破棄されます。

ステータスバー

全画面表示をすることで、ステータスバーを非表示にすることができます。(→ 83 ページ)



① ファイル名

編集集中のテキストファイルの名前が表示されます。(→ 52 ページ)

② 編集集中アイコン

テキストが変更された状態で、未保存の場合に表示されます。(→ 52 ページ)

③ キーロックアイコン

修飾キーがロック状態の場合に表示されます。(→ 116 ページ)

④ Caps Lock アイコン

Caps Lock の設定時に表示されます。(→ 125 ページ)

Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押すと Caps Lock 機能のオン/オフが切り替わります。

⑤ ATOK パレット

入力モードなど、文字の入力・変換に必要な情報が表示されます。(→ 93 ページ)

⑥ コイン電池アイコン

コイン電池が入っていない、コイン電池残量が低下した場合に表示されます。

⑦ 電池残量アイコン

電池残量の目安が表示されます。

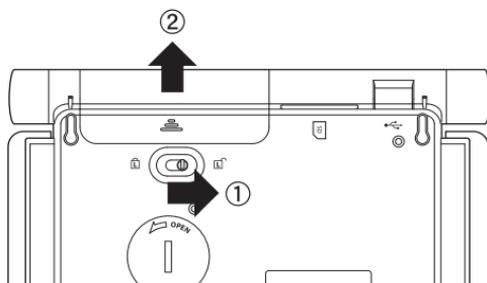
⑧ 時刻表示

本体に設定した時刻が表示されます。(→ 100 ページ)

電池をセットする（別売り）

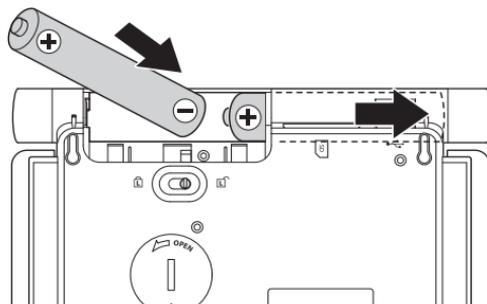
本機を使用する前に、単3形電池2本をセットします。

1 電池カバーのロックを解除し、電池カバーを外す



2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単3形電池を2本入れます。



3 電池カバーをはめ、電池カバーをロックする

注意！

電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ乾電池または十分に充電されたエネルギーパックに交換してください。

※電池寿命は使用環境や設定などで変化します。

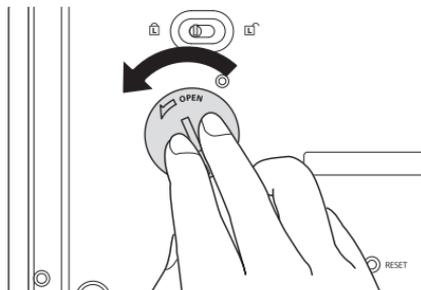
メモ

- ご使用前に電池の種類を設定してください。(→ 101 ページ)
- 本機には電池は同梱しておりません。単3形アルカリ乾電池(2本)、または単3形エネループ(2本)をお買い求めください。その他の電池を使用したときは、本機が起動しない、電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないなどのトラブルが生じることがあります。
- 電池残量が少なくなると、電池残量アイコンの目盛りが減っていきます。電池を新品のアルカリ乾電池または十分に充電されたエネループに交換してください。
- 電源を入れたまま、電池カバーロックを解除した場合、警告メッセージが表示され、本機の電源は自動的に切れます。
- 画面のリフレッシュを頻繁におこなうと、電池寿命が短くなります。

コイン電池の交換について

本機では、日時データのバックアップのためリチウムコイン電池を使用しています。コイン電池非挿入時およびコイン電池残量が無くなると、ステータスバーにコイン電池アイコンが表示されます。コイン電池アイコンが表示された場合は、コイン電池を交換してください。

1 コイン電池カバーを矢印の方向に回して外す

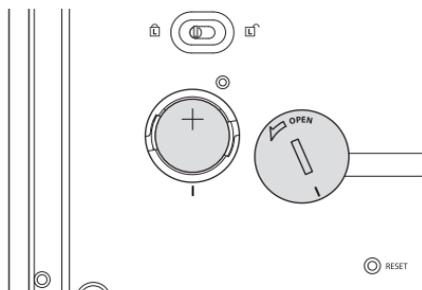


メモ

回しづらい場合は、コインや大きめのマイナスドライバーなどをご使用ください。

2 コイン電池をセットする

コイン電池は、「+」の面が見えるようにセットします。



3 コイン電池カバーを固定する

注意!

- ご購入直後は、コイン電池に絶縁フィルムがはさまれています。単3形電池をセット後に必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。
- コイン電池の電池寿命は約2年です。(単3形電池が入っていれば消耗しません)

重要✓

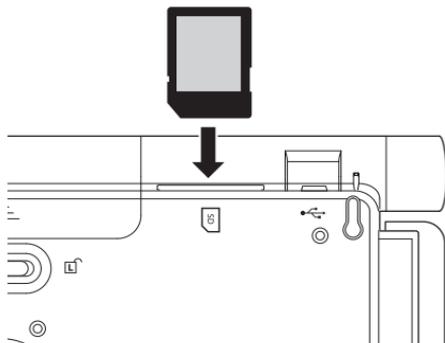
- 電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合はリセットスイッチを押してください。コイン電池を交換する際は、交換後必ずリセットスイッチを押してください。(リセットスイッチを押すと未保存の文書は消去されます)
- 電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ乾電池または十分に充電されたエネルギーに交換してください。
- コイン電池をセットする際、必ず「+」の面が見えるようにセットしてください。逆の向きでセットすると、電池寿命や本体の動作が不安定になり、故障の原因となる可能性があります。

SD カードをセットする (別売り)

SD カードをセットします。ファイルの保存領域を増やすだけでなく、パソコンとのデータのやり取りがおこなえます。

1 SD カードを入れる

SD カードの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで奥へ入れます。



注意!

- 本機は、2GB までの SD カードまたは 32GB までの SDHC カードに対応しています。これらより大きい容量のカードは使用できませんのでご注意ください。
- SD カードまたは SDHC カードは、使用前に必ず本機でフォーマットをおこなってください。本機でフォーマットをおこなわない場合、使用できない可能性があります。
- SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、SD カードのデータは操作できません。

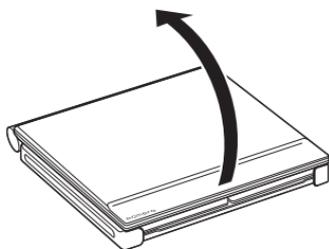
メモ

- 本機には SD カードは同梱しておりません。
- 本機で動作確認済みの SD カードの情報は、弊社 HP にてご確認ください。
<http://www.kingjim.co.jp/support/pomera/dm30>

キーボードを開く / 閉じる

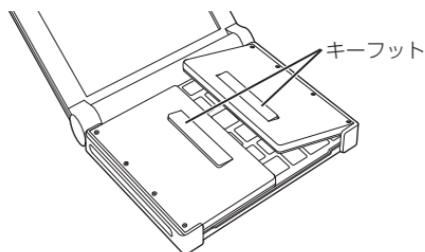
■キーボードを開く

1 画面を開く

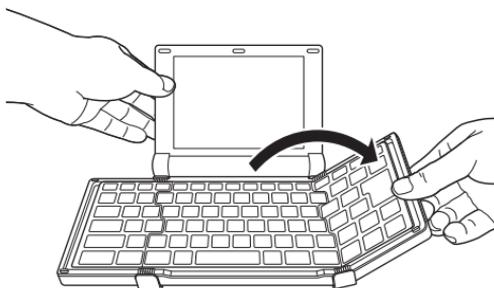


メモ

キーボードを開くと、同時にキーフットが飛び出します。

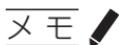
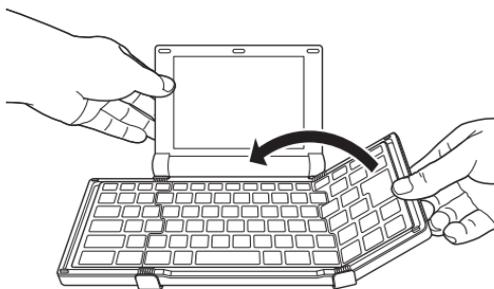


2 キーボードを左右に開く



■ キーボードを閉じる

1 左右のキーボードを閉じる



キーボードを閉じると、同時にキーフットが格納されます。

2 画面を閉じる

注意!

- 画面はゆっくり開いてください。また画面を最大角度（180°）以上開かないでください。画面が割れたり、ヒンジが破損するおそれがあります。
- キーボードを無理に開かないでください。破損するおそれがあります。
- 画面、キーボードを開いたまま持ち運ばないでください。本体が破損するおそれがあります。持ち運ぶときは必ず画面、キーボードを閉じてください。
- 画面、キーボードを開閉する際には、指などがはさまれないようにご注意ください。
- 画面、キーボードを開閉する際は、本体の下に衣類・紙やビニールなど異物がないことを確認してください。異物があると巻き込んでしまい、破損するおそれがあります。
- キーフットを押さえたまま開閉しないでください。本体が破損するおそれがあります。

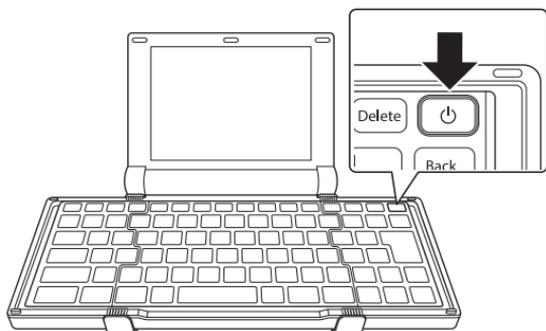
2 | 基本操作

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

1 電源ボタンを押す

電源が入りテキスト編集画面（またはカレンダー画面）が表示されます。



メモ

- オープンパワーオン設定をすることで、画面を開くと自動で電源が入ります。（→ 103 ページ）
- パスワードを設定している場合は、認証画面が表示されます。設定したパスワードを入力して、Enter キーを押してください。
- 起動時の初期画面は、テキスト編集画面またはカレンダー画面から選択して変更できます。（→ 107 ページ）

■電源を切る

1 電源ボタンを押す

編集中のファイルがある場合は内容が保持され、本機の電源が切れます。

メモ

- キーボードを閉じた状態で画面を閉じて、電源を切ることができます。編集中のファイルの内容は保持されます。(→ 17 ページ)
- パワーオフ画面は、編集画面にも変更できます。初期設定では画面オフになっています。(→ 104 ページ)

オープンパワーオンについて

「オープンパワーオン」が設定されている場合、本機を開くと自動で電源が入ります。この設定はメニュー画面の「設定」 - 「電源管理」で変更できます。(→ 103 ページ)

オートパワーオフについて

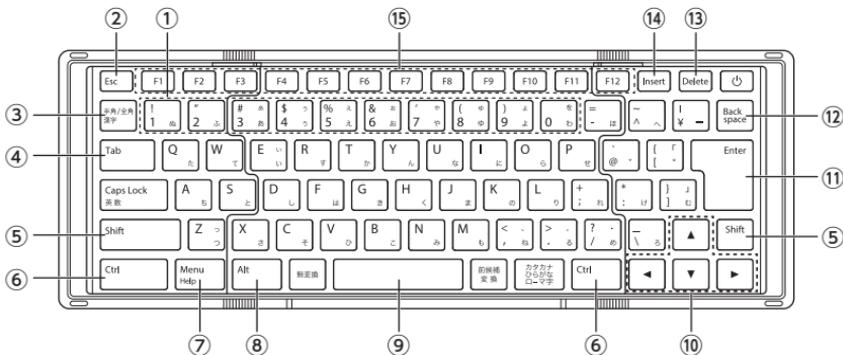
「オートパワーオフ」が設定されている場合、電源を入れてから一定時間(初期設定: 5分)操作をおこなわないと、自動で電源が切れます。この設定はメニュー画面の「設定」 - 「電源管理」で変更できます。(→ 102 ページ)

メモ

- 電源を入れてから一定時間(10秒)操作をおこなわないと、自動でスリープモードになり、カーソルが点滅から点灯に変わります。
- いずれかのキーを押すと、スリープが解除されます。

キーボードの基本操作

ここでは文字を入力する以外のキーのおもな使いかたを説明します。



① 数字キー

数字を入力します。Shift キーを押したまま、数字キーを押すと数字キーの左上の記号を入力します。

※カナ入力時は入力できません。

② Esc (エスケープ) キー

1 つ前の画面に戻します。

③ 半角 / 全角 漢字キー

日本語入力のオン、オフを切り替えます。

④ Tab (タブ) キー

テキスト編集画面では、編集中のテキストにタブを挿入します。

メニュー画面では、カーソルやアクティブエリアを次の項目に移動します。

⑤ Shift (シフト) キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。

(→ 125 ページ)

⑥ Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。

(→ 125 ページ)

⑦ Menu (メニュー) Help (ヘルプ) キー

メニュー画面の呼び出し、メニュー画面の終了をおこないます。

Alt キーと組み合わせて押すと、ヘルプ画面が表示されます。

⑧ Alt (オルト) キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。
(→ 125 ページ)

⑨ Space (スペース) キー

スペースの入力や、入力中の文字の変換をおこないます。

⑩ ▲ / ▼ / ◀ / ▶ (カーソル) キー

上下左右にカーソルを移動します。

⑪ Enter (エンター) キー

テキスト編集画面では、改行をしたり、文字の変換候補を決定したりします。
メニュー画面では選択した内容を確定します。

⑫ Backspace (バックスペース) キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

⑬ Delete (デリート) キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

「開く」、「名前をつけて保存」、「ファイルのコピー」または「ファイルの移動」画面では、ファイル / フォルダを削除します。また、「定型文」、「日付メモ」、「単語登録画面」、「辞書履歴画面」では、選択した項目を削除します。

⑭ Insert (インサート) キー

テキスト編集画面で、挿入モードと上書きモードを切り替えます。

挿入モードではカーソルが点滅し、上書きモードではカーソルが点灯します。
なお、スリープ時には挿入モードでもカーソルが点灯します。

⑮ F1 ~ F12 (ファンクション) キー

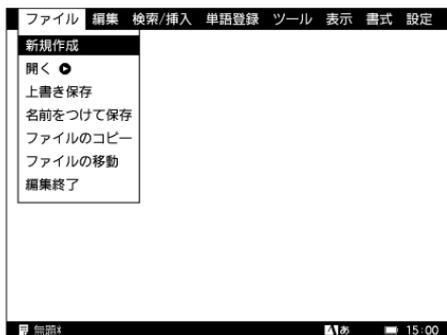
各キーに本機専用の機能が割り当てられています。(→ 125 ページ)

メニュー画面を表示する

メニュー画面では、ファイルの編集・管理や本機の設定をおこないます。

1 Menu キーを押す

メニュー画面が表示されます。



メニュー画面の基本操作

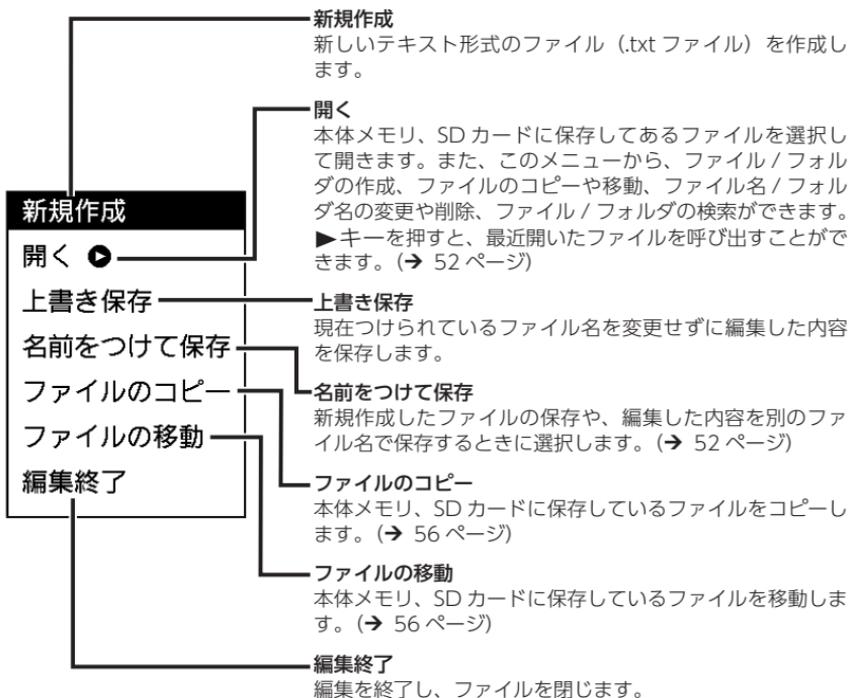
メニュー画面のおもなキーボード操作を説明します。

- ◀/▶キー : カーソルを左右に動かします。メニュータブを選択します。
- ▲/▼キー : カーソルを上下に動かします。メニュータブの中の項目を選択します。
- Enter キー : 選択した項目を決定し、次画面を開きます。
- Menu キー : メニュー画面を終了します。
- Esc キー : 1 つ前の画面に戻ります。

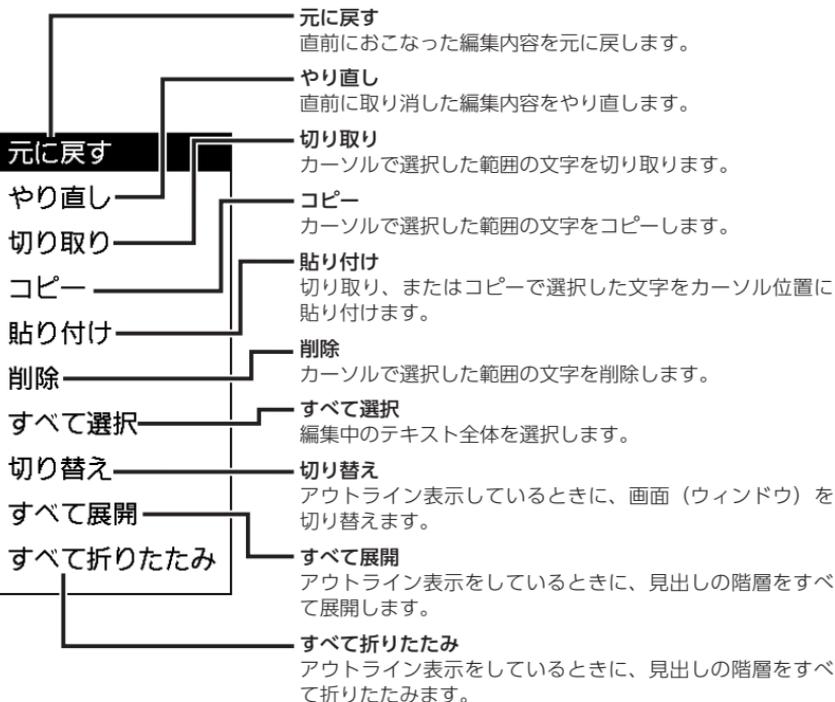
メニュー画面でできること

メニュー画面から実行できる操作や、設定を説明します。

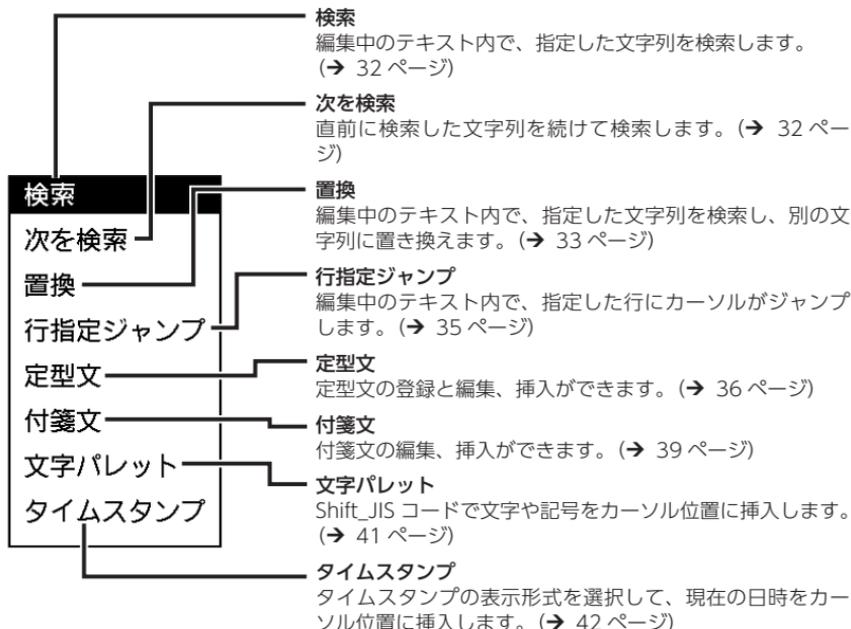
■ファイル



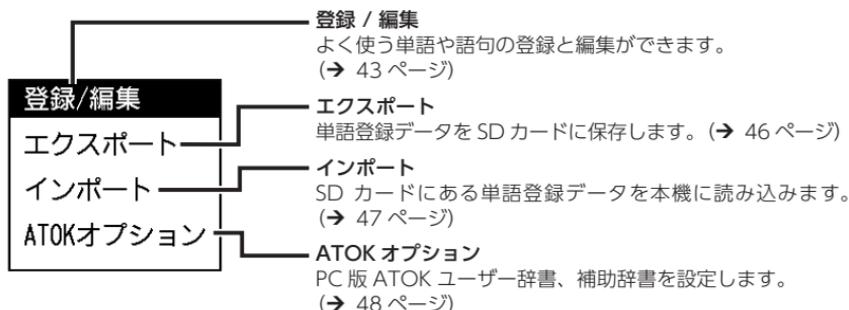
編集



■ 検索 / 挿入



■ 単語登録



■ ツール

電子辞書

QRコード

カレンダー

表

PCリンク

FlashAir

文字情報表示

電子辞書

国語辞典・英和辞典・和英辞典を閲覧することができます。
(→ 64 ページ)

QRコード

編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。
(→ 69 ページ)

カレンダー

カレンダーを表示します。日付ごとにメモを作成できます。
(→ 71 ページ)

表

新しい表形式のファイル (.csv ファイル) を作成します。
(→ 74 ページ)

PCリンク

パソコンと接続時に選択すると外部メモリとして認識されま
す。(→ 76 ページ)

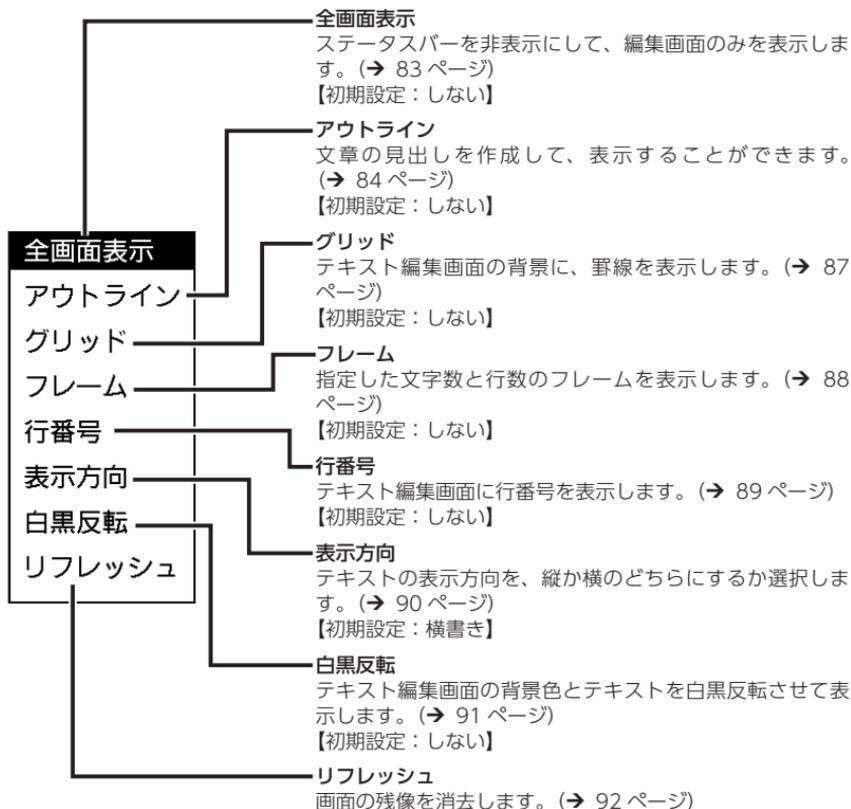
FlashAir

FlashAir™ (別売り) を利用して、作成したファイルをパ
ソコンやスマートフォンに転送できます。(→ 81 ページ)

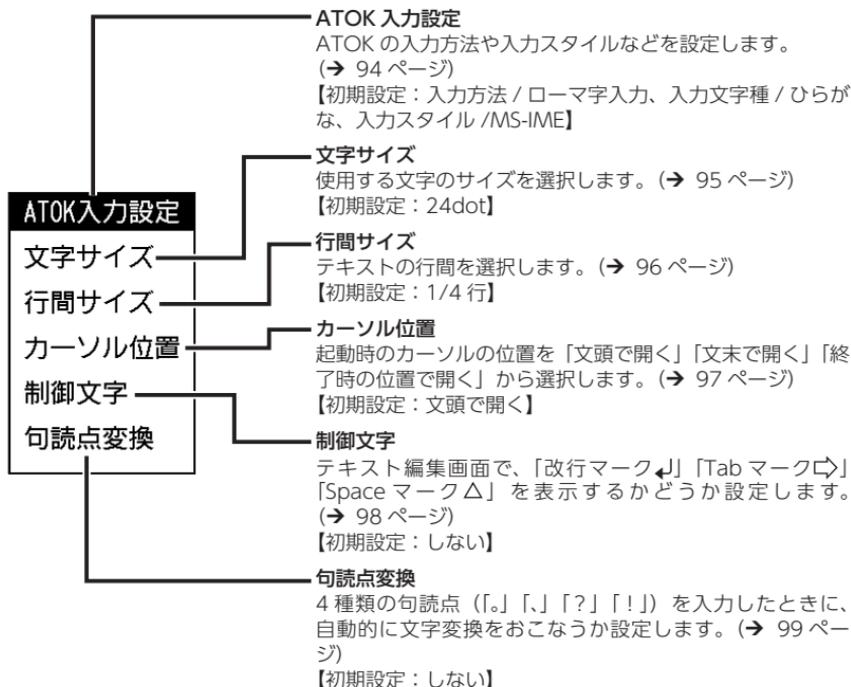
文字情報表示

編集中のテキストの総文字数と総行数、選択中のテキスト
の文字数と行数を表示します。

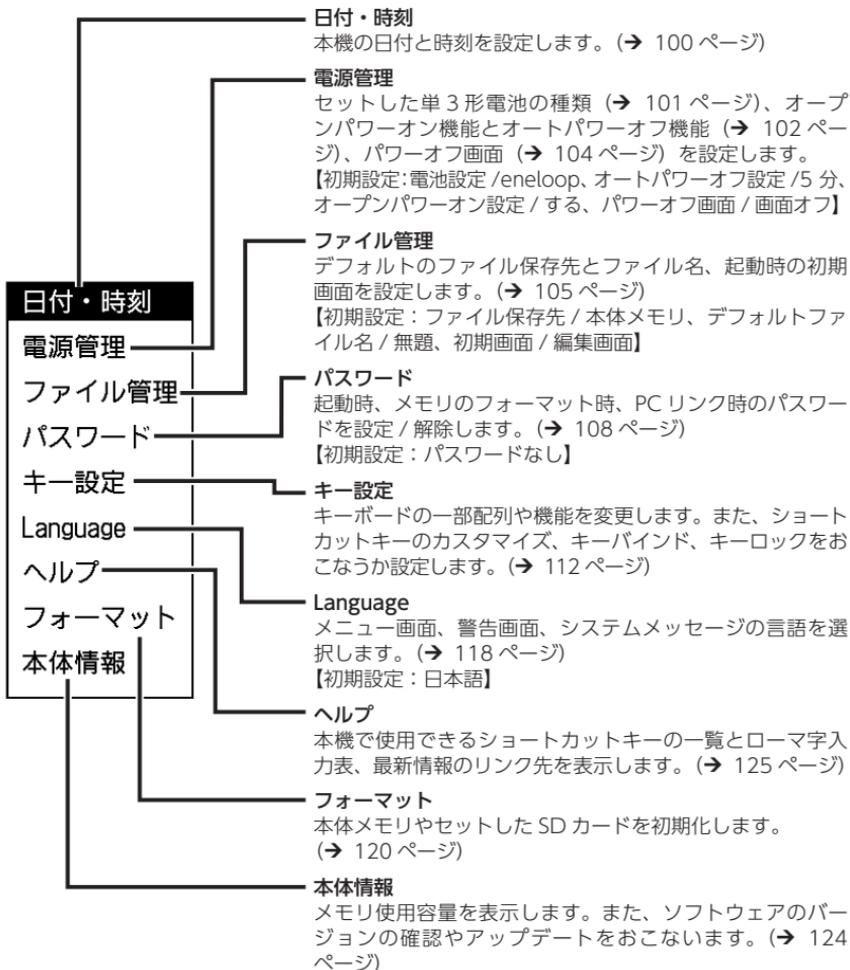
■表示



■書式



設定



3 | テキストの編集

テキストを入力する

電源を入れるとテキスト編集画面が表示されます。テキスト編集画面では、一般的なテキストエディタと同様の操作で入力、編集ができます。

本機のキーボード操作は基本的にパソコンのキーボード操作と同じです。メニュー画面の「書式」 - 「ATOK 入力設定」(→ 94 ページ) で選択した入力スタイル (MS-IME または ATOK) に応じたショートカットを使うこともできます。(→ 128 ページ)

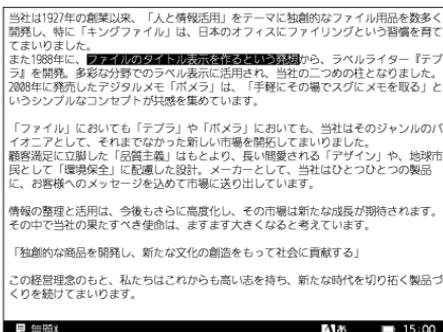
カーソルキーでの範囲選択

本機でマウスは使用できません。編集中のテキストをコピーしたり、切り取ったりするときには、▲/▼/◀/▶ (カーソル) キーを使って、コピーや切り取りをおこなう範囲を選択します。

1 選択するテキストの開始位置にカーソルを合わせる

2 Shift キーを押しながら、▲/▼/◀/▶ キーを押す

選択するテキストの終了位置までカーソルを移動させ、選択範囲を指定します。



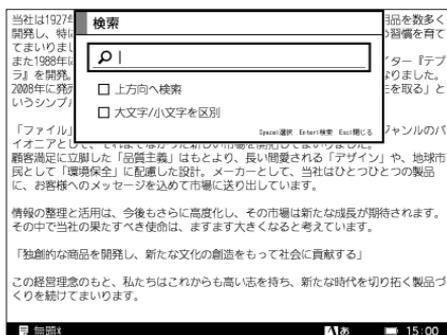
メモ

- テキストの選択を解除するときは、Shift キーを押さずに▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーのいずれかを押します。
- 1 ファイルあたりの最大文字数は、全角 50,000 文字です。

テキストを検索する

編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索して表示できます。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「検索」を選択し、Enter キーを押す
「検索」画面が表示されます。



- 2 検索したい文字列を入力する

メ 

検索が可能な文字列は全角 18 文字までです。

- 3 ▲ / ▼キーでカーソルを移動し、Space キーで検索条件を選択する

上方向へ検索：

検索時に、カーソルを基準に上方向へ検索します。

大文字 / 小文字を区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

- 4 Enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索されます。

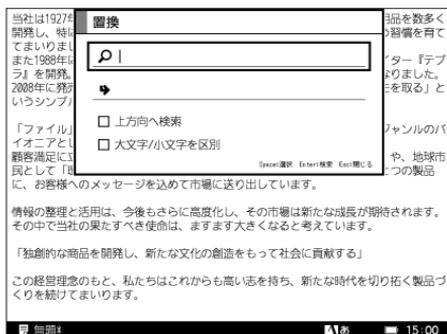
メ 

- 「検索する文字列」が空欄の場合、Enter キーを押しても検索は開始されません。文字列を入力するか、Esc キーを押してください。メニュー画面が表示されます。
- F3 (Shift + F3) キーを押しても、直前に検索した文字列を続けて検索できます。

検索したテキストを置き換える

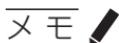
文字列を検索し、指定した文字列と置換できます。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「置換」を選択し、Enter キーを押す
「置換」画面が表示されます。



- 2 ρに検索したい文字列を入力する

- 3 ▼キーで↵を選択し、置換したい文字列を入力する



置換が可能な文字列は全角 18 文字までです。

- 4 ▲ / ▼キーでカーソルを移動し、Space キーで検索条件を選択する

上方向へ検索：

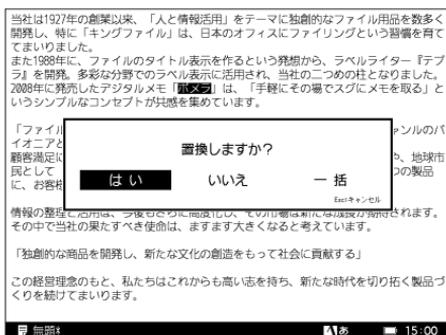
検索時に、カーソルを基準に検索する方向を選択します。

大文字 / 小文字を区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

5 Enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索され、置換確認画面が表示されます。



6 ◀/▶キーでメニューを選択し、Enter キーを押す

はい：

検索した文字列を置換し、次の文字列を検索します。

いいえ：

検索した文字列を置換しないで、次の文字列を検索します。

一括：

検索条件にあてはまる文字列を、すべて置換します。

Esc：キャンセル：

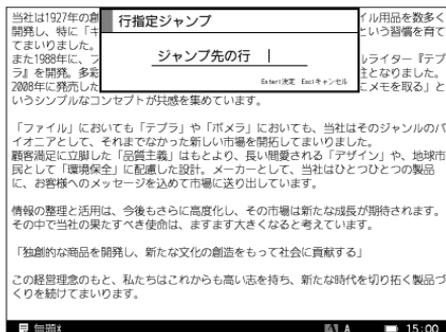
Esc キーを押すと、置換をしないでテキスト編集画面に戻ります。

指定した行へジャンプする

編集中のテキスト内で、カーソルを指定した行へジャンプさせることができます。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「行指定ジャンプ」を選択し、Enter キーを押す

「行指定ジャンプ」画面が表示されます。



- 2 ジャンプ先の行数を入力し、Enter キーを押す

カーソルが指定した行へジャンプします。

メモ

実際に存在する以上の行数を入力した場合、最後の行へジャンプします。

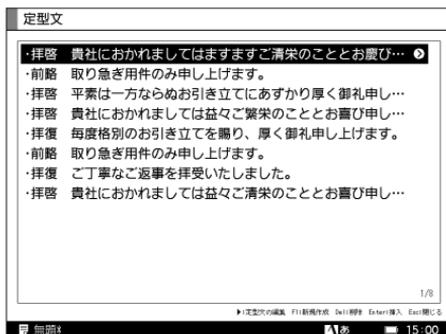
定型文を設定する

テキスト編集集中に挿入できる定型文を設定します。定型文は、20種類の文章が登録できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「定型文」を選択し、Enter キーを押す

登録した定型文の一覧が表示されます。

※登録した定型文がない場合、すぐに「定型文の編集」画面が表示されます。



2 F1 キーを押す

「定型文の編集」画面が表示されます。



●登録済みの定型文を編集する場合

▲ / ▼キーで定型文を選択し、▶キーを押す

「定型文の編集」画面が表示されます。

3 設定したい内容を入力し、Esc キーを押す

定型文が設定され、定型文一覧画面に戻ります。

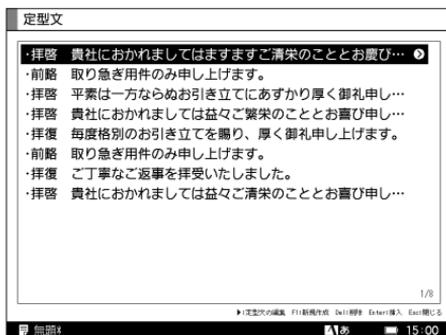
メモ

- 定型文は、最大 20 件まで登録できます。
- 定型文の最大登録文字数は、1 種類につき全角 500 文字です。
- 定型文の編集中は、表示文字サイズは変更できません。表示文字サイズはテキスト編集画面と同じになります。最大文字サイズは 32dot です。
- 定型文の一覧で削除したい定型文を選択し、Delete キーを押すと確認画面が表示され、定型文が削除できます。
- 定型文の編集集中に Menu キーを押した場合、使用できない機能が一部あります。

定型文を挿入する

登録した定型文を挿入します。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「定型文」を選択し、Enter キーを押す
登録した定型文の一覧が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーで定型文を選択し、Enter キーを押す
選択した定型文がカーソル位置に挿入されます。

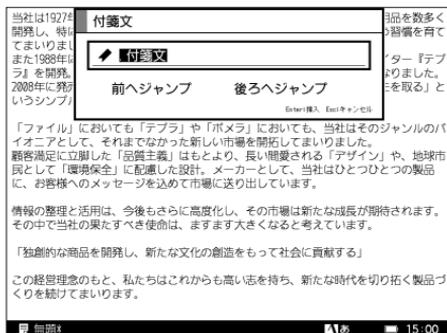
メモ

- Alt + F3 キーでも登録した定型文の一覧を表示できます。
- 挿入した定型文は、次に定型文の一覧を表示したときに、一番上に表示されます。

付箋文を使う

付箋文はテキストデータにはさむ「しおり」のような役割をします。テキストに付箋文を挿入すると、編集中にワンアクションで、付箋文の位置までジャンプすることができるようになります。大量のテキストの中に挿入することで、より効率的なテキスト編集ができます。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「付箋文」を選択し、Enter キーを押す
「付箋文」画面が表示されます。

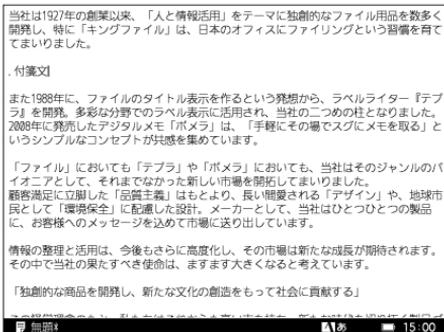


メモ

- 初期設定は「.付箋文」です。
- 文頭に半角ピリオドまたは半角シャープがあると、アウトライン表示にしたときに見出しとして認識されて便利です。(→ 84 ページ)

2 付箋文を入力し、Enter を押す

テキストのカーソル位置に付箋文が挿入されます。



● 付箋文の位置にジャンプする場合

▲ / ▼ / ◀ / ▶ キー（または Tab キー）で「前へジャンプ」「後ろへジャンプ」を選択し、Enter キーを押す

カーソルが付箋文の位置にジャンプします。

メモ

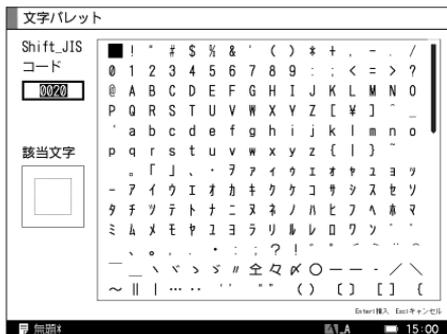
- 付箋文を空欄のまま設定することはできません。必ず文字列を入力してください。
- 付箋文は全角 18 文字まで設定できます。
- F1 キーを押しても、付箋文を挿入できません。
- F5 キーを押すとカーソルより後ろの付箋文に、Shift + F5 キーを押すとカーソルより前の付箋文にジャンプできます。

Shift_JIS コードで文字を入力する

読みかたの分からない漢字や記号などを、Shift_JIS コードを使って入力します。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「文字パレット」を選択し、Enter キーを押す

「文字パレット」画面が表示されます。



- 2 入力したい文字コードを入力する

メモ 

- Tab キーで文字コード入力エリアと文字パレットの切り替えができます。
- 文字パレットにフォーカスを移動させて、▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押すと、文字パレット一覧から文字を選択することができます。
- 文字コードは取扱説明書（本書）には記載していません。市販の辞書などをご参照ください。

- 3 Enter キーを押す

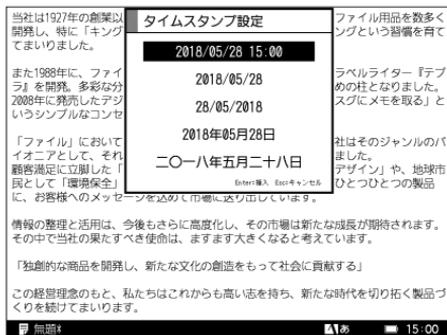
テキスト編集画面に指定した文字が挿入されます。

タイムスタンプを挿入する

現在の日時をカーソル位置に挿入することができます。表示形式は5種類から選択できます。

- 1 メニュー画面で「検索 / 挿入」 - 「タイムスタンプ」を選択し、Enter キーを押す

「タイムスタンプ設定」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) で設定したい表示形式を選択し、Enter キーを押す

テキストのカーソル位置にタイムスタンプが挿入されます。

単語登録を管理する

単語を登録する

よく使う単語や語句を単語登録します。

1 メニュー画面で「単語登録」 - 「登録 / 編集」を選択し、Enter キーを押す

「登録 / 編集」画面が表示されます。

※登録した単語がない場合、すぐに単語を入力する画面が表示されます。



2 F1 キーを押す

単語を入力する画面が表示されます。



3 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で入力項目を移動し、登録したい単語のデータを入力する

読み：

登録したい単語の読みかたを入力します。

語句：

登録する単語を入力します。

品詞：

登録する単語の品詞を選択します。選択できる品詞は 33 種類です。

注意！

「読み」の登録には使用できない文字があります。(→ 134 ページ)

メモ

- 読みの最大入力文字数は全角 8 文字です。
- 語句の最大入力文字数は 18 文字です。
- 最大 1,400 語まで単語登録できます。(語句 7 文字、読み 7 文字の場合)

4 Enter キーを押す

登録完了のメッセージが表示され、「登録 / 編集」画面に戻ります。

注意！

登録する単語によっては動詞の活用に対応しないものがあります。その場合は、名詞や固有名詞などで登録してください。

登録した単語を編集する

登録した単語を編集します。登録単語の削除もできます。

- 1 メニュー画面で「単語登録」 - 「登録 / 編集」を選択し、Enter キーを押す
「登録 / 編集」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キーで編集したい単語を選択し、Enter キーを押す
単語を編集する画面が表示されます。



●登録した単語を削除する場合

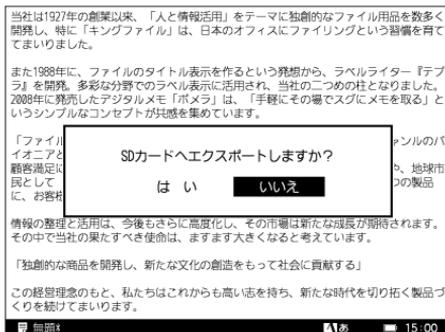
1. ▲ / ▼ キーで削除したい単語を選択し、Delete キーを押す
確認画面が表示されます。
複数の単語を選択する場合は、Shift キーを押しながら▲ / ▼ キーを押してください。
2. ◀ / ▶ キーで「はい」を選択し、Enter キーを押す
登録単語が削除され、「登録 / 編集」画面に戻ります。

登録した単語を SD カードに保存する

登録および自動学習した単語を「atok.dic」ファイルとして SD カードに保存します。

1 メニュー画面で「単語登録」 - 「エクスポート」を選択し、Enter キーを押す

確認画面が表示されます。



2 ◀/▶キーで「はい」を選択し、Enter キーを押す

登録した単語が SD カードに保存され、エクスポート完了画面が表示されます。

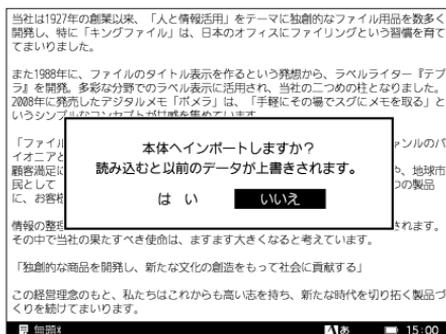
メモ

- すでに SD カード内に「atok.dic」ファイルがある場合、「上書き保存」の確認画面が表示されます。

SD カードに保存した辞書データを本体へ読み込む

SD カードに保存した「atok.dic」ファイルを本体メモリへ読み込みます。

- 1 メニュー画面で「単語登録」－「インポート」を選択し、Enter キーを押す
確認画面が表示されます。



- 2 ◀/▶キーで「はい」を選択し、Enter キーを押す

SD カードに保存されていた「atok.dic」ファイルが本体に読み込まれ、インポート完了画面が表示されます。

注意！

- DM200 以外のポメラでお使いの単語登録ファイル (atok.dic) は、DM30 にインポートして使用できません。
- DM30 からエクスポートした単語登録ファイル (atok.dic) は、DM200 以外のポメラでは使用できません。

ATOK オプションを設定する

PC 版 ATOK ユーザー辞書をインポートします。また、ATOK 補助辞書から本機で追加使用する辞書を選択します。

PC 版 ATOK ユーザー辞書をインポートする

PC 版 ATOK で登録した単語などを、本機で使用します。

注意

PC 版 ATOK 登録辞書をインポートすると、ATOK オプションの補助辞書は使用できません。すでに補助辞書が設定されている場合、自動的に解除されます。

メモ

PC 版 ATOK ユーザー辞書は、約 20,000 語（語句 7 文字、読み 7 文字の場合）まで本機にインポートできます。

- あらかじめ、PC 版 ATOK に登録した単語を「pcatok.txt」というファイル名で、.txt ファイルとして保存してください。
- PC 版 ATOK に登録されている単語を .txt ファイルとして保存する方法については、PC 版 ATOK のヘルプをご参照ください。

- 1 **本機をパソコンと接続し、PC 版 ATOK の単語登録ファイル (pcatok.txt) を「PcAtok」フォルダに保存します。**

メモ

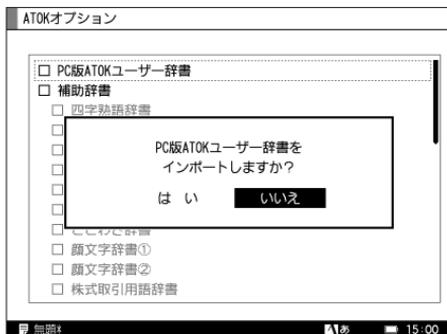
パソコンとの接続については、「パソコンと接続する」(→ 76 ページ)をご確認ください。

2 メニュー画面で「単語登録」 - 「ATOK オプション」 を選択し、Enter キーを押す

「ATOK オプション」画面が表示されます。



3 ▲ / ▼キーで「PC 版 ATOK ユーザー辞書」 を選択し、Space キーを押す インポート確認画面が表示されます。



4 ◀ / ▶キーで「はい」 を選択し、Enter キーを押す

PC 版 ATOK 登録辞書が本機に読み込まれたあと、インポート完了画面が表示されます。

注意!

- PC 版 ATOK ユーザー辞書の登録単語数が多いと、インポートするのに時間がかかる場合があります。
- 一度 PC 版 ATOK ファイルをインポートしたあと、新しい ATOK ファイルを使用する場合、パソコンと接続して本機から「pcatok.txt」を一旦削除し、もう一度新しい「pcatok.txt」を「PcAtok」フォルダに保存してください。その後、手順 2 の画面で▶キーを押して PC 版 ATOK ユーザー辞書の「インポート」を選択し、Enter キーを押してください。
- インポートした PC 版 ATOK ユーザー辞書を削除する場合、手順 2 の画面で▶キーを押して PC 版 ATOK ユーザー辞書の「削除」を選択し、Enter キーを押してください。その後、パソコンと接続して本機から「pcatok.txt」を削除してください。

補助辞書を設定する

1 メニュー画面で「単語登録」－「ATOK オプション」を選択し、Enter キーを押す

「ATOK オプション」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼キーで「補助辞書」を選択し、Space キーを押す
辞書名が選択できるようになります。



- 3 ▲ / ▼キーでカーソルを移動し、Space キーで補助辞書を選択する

メモ 

- 補助辞書は 66 種類のうち 20 種類まで選択できます。
- すでに選択した補助辞書にカーソルをあわせて Space キーを押すと、選択が解除されます。
- PC 版 ATOK ユーザー辞書をインポートした場合、補助辞書の設定は解除されます。

- 4 Enter キーを押す

補助辞書が設定され、メニュー画面に戻ります。

4 | ファイル / フォルダの管理

ファイルを保存する

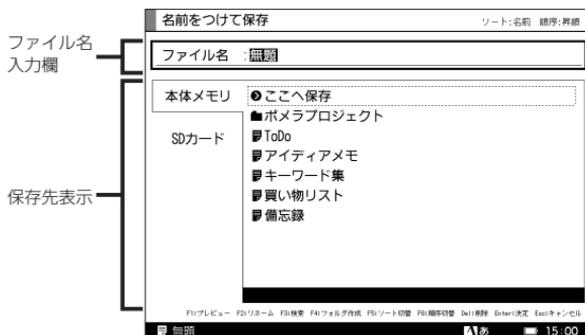
本機で編集したファイルに名前をつけて保存します。ファイルの保存先として本体メモリまたはSDカードを選択できます。

メモ

編集したファイルは、メモ形式の場合は .txt ファイル、表形式の場合は .csv ファイルで保存されます。

1 メニュー画面で「ファイル」 - 「名前をつけて保存」を選択し、Enter キーを押す

「名前をつけて保存」画面が表示されます。



メモ

ファイル / フォルダ管理画面に表示されるアイコンは以下の通りです。

テキストアイコン

本機で開けるテキスト形式のファイルです。

表アイコン

本機で開ける表形式のファイルです。

非対応ファイルアイコン

本機では開けない形式のファイルです。

■ フォルダアイコン

フォルダ内にあるデータを参照できます。選択して Enter キーを押すと、中にあるファイルやフォルダが表示されます。

❓ 非対応フォルダアイコン

フォルダ内に 3,000 以上のファイル / フォルダがある場合、そのフォルダを開くことができません。

2 ファイル名を入力する

任意のファイル名を入力します。

注意!

- ファイル名には、使用できない半角文字 (" * + , / ; < = > ? [¥] |) があります。
- 半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。

メモ

- ファイル名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。
- 保存時のデフォルトファイル名の設定ができます。(→ 106 ページ)

3 ▲ / ▼ キーで保存メモリ表示を切り替え、Enter キー (または Tab キー) を押す
保存されているファイルとフォルダが表示されます。**4 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーでファイルを保存したいフォルダを選択し、Enter キーを押す**

選択したフォルダ内にあるファイルとフォルダが表示されます。

注意!

SD カードが本機にセットされていない場合は、SD カードタブは表示されず、選択できません。

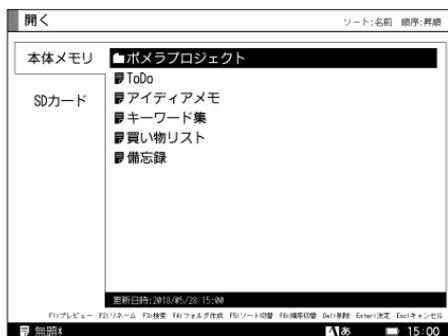
5 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーを押して「ここへ保存」を選択し、Enter キーを押す
入力したファイル名でファイルが保存されます。**メモ**

すでに存在するファイル名を入力すると、「上書き保存」の確認画面が表示されます。別の名前をつけ直す場合は「いいえ」を、すでに存在するファイルに上書きする場合は「はい」を選択して Enter キーを押します。

フォルダを作成する

保存したファイルを整理するためのフォルダを作成します。フォルダの作成先として本体メモリまたはSDカードを選択できます。

- 1 メニュー画面で「ファイル」 - 「開く」を選択し、Enter キーを押す
「開く」画面が表示されます。



メモ

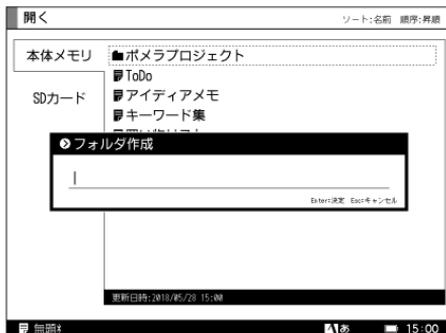
「開く」画面以外のファイル / フォルダ管理画面でも、フォルダの作成は可能です。

- 2 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーでフォルダを作成したい保存メモリを選択して Enter キーを押す

既存のフォルダ内にフォルダを作成する場合は、フォルダを選択して Enter キーを押して展開したあとに、▼キーでフォルダ内に移動してください。

3 F4 キーを押す

フォルダ名入力エリアが表示されます。



4 フォルダ名を入力する

任意のフォルダ名を入力します。

5 Enter キーを押す

入力したフォルダ名でフォルダが作成されます。

注意

- フォルダ名には使用できない半角文字 (" * + , / : ; < = > ? [¥] |) があります。
- 半角スペースは、フォルダ名の先頭には使用できません。

メモ

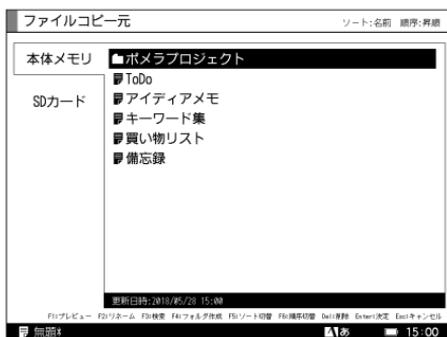
- 新しいフォルダと同名のフォルダがある場合は、警告画面が表示され、フォルダは作成されません。
- フォルダは 5 階層まで作成できます。
- フォルダ名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。

ファイルをコピー / 移動する

保存したファイルを本体メモリとSDカード間、フォルダ間でコピーまたは移動できます。コピーは元のファイルを残したまま複製します。移動は元の場所にファイルは残りません。

- 1 メニュー画面で「ファイル」 - 「ファイルのコピー」または「ファイルの移動」を選択し、Enter キーを押す

「ファイルコピー（移動）元」の選択画面が表示されます。



- 2 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーで保存メモリを選択して Enter キーを押す

- 3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでコピー（または移動）したいファイルを選択し、Enter キーを押す

「ファイルコピー（移動）先」の選択画面が表示されます。



4 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーで保存メモリを選択して Enter キーを押す

5 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでファイルのコピー（または移動）先を選択し、▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「ここへ貼り付け」を選択して、Enter キーを押す

ファイルがコピー（移動）され、「ファイルコピー（移動）元」選択画面に戻ります。

注意！

フォルダはコピー / 移動できません。

メモ

コピー（移動）先にフォルダを選択する場合、フォルダを開いて中身を確認してから、「ここへ貼り付け」を選択してください。

注意！

- コピー（または移動）先の容量が不足している場合、保存作業は中断されます。
- 編集中のファイルは移動できません。
- SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、カードのデータは操作できません。

メモ

- 「ファイルのコピー」の場合、コピー先に同名のファイルがある場合は、「コピー～ファイル名」というファイル名で保存されます。
- 「ファイルの移動」の場合、移動先に同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。

ファイル / フォルダを削除する

保存したファイル / フォルダを削除します。削除したファイル / フォルダは元に戻せません。

- 1 メニュー画面で「ファイル」 - 「開く」を選択し、Enter キーを押す
「開く」画面が表示されます。

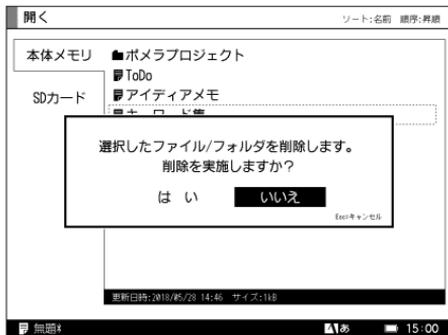


- 2 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーで保存メモリを選択して Enter キーを押す

保存先にあるファイル / フォルダの一覧が表示されます。

- 3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーで削除したいファイルまたはフォルダを選択し、Delete キーを押す

確認画面が表示されます。



メモ 

Shift + ▲ / ▼ キーで、複数のファイルまたはフォルダが選択できます。

4 ◀/▶キーで「はい」を選択し、Enter キーを押す

ファイルまたはフォルダが削除され、「開く」画面に戻ります。

注意!

- 削除したファイルまたはフォルダは元に戻せません。
- 編集中のファイルを削除する場合は、メニュー画面で「ファイル」－「編集終了」を選択し、編集作業を終了してから操作をおこなってください。
- フォルダを削除した場合、フォルダ内に保存されていたファイルも削除されます。

ファイル / フォルダ名を変更する

保存したファイル / フォルダの名前を変更します。

- 1 メニュー画面で「ファイル」 - 「開く」を選択し、Enter キーを押す
「開く」画面が表示されます。



- 2 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーで保存メモリを選択して Enter キーを押す
保存先にあるファイル / フォルダの一覧が表示されます。

- 3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーで名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択し、F2 キーを押す
リネーム欄が表示されます。



4 新しいファイル名またはフォルダ名を入力し、Enter キーを押す

ファイル名またはフォルダ名が変更されます。

注意

- ファイル名には使用できない半角文字 (" * + , / : ; < = > ? [¥] |) があります。
- 半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。
- 以下の場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作をおこなってください。
 - 編集中のファイル名を変更するとき
 - 編集中のファイルがあるフォルダ名を変更するとき

メモ

- ファイル名またはフォルダ名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。
- 新しいファイル名と同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。

ファイル / フォルダを検索する

本体メモリとSDカードに保存したファイル / フォルダを検索します。

- 1 メニュー画面で、「ファイル」 - 「開く」を選択し、Enter キーを押す
「開く」が表示されます。



メモ

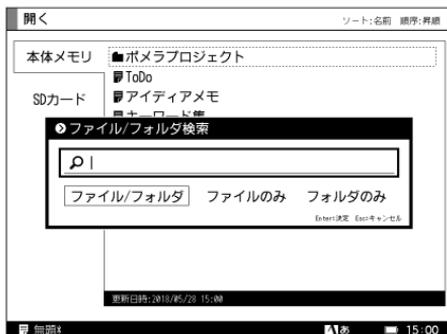
「開く」画面以外のファイル / フォルダ管理画面でも、ファイル / フォルダ検索は可能です。

- 2 ◀キー（または Tab キー）を押し、▲ / ▼キーでファイル / フォルダを検索したい保存先を選択する

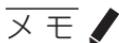
保存先にあるファイル / フォルダの一覧が表示されます。

- 3 F3 キーを押す

検索文字列入力エリアが表示されます。



4 検索したいファイル / フォルダ名を入力する



ファイル / フォルダ名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。

5 ▲ / ▼キー (または Tab キー) でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで検索条件を選択する

6 Enter キーを押す

検索条件に該当するファイル / フォルダが検索されます。



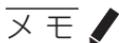
- 検索対象は、表示しているフォルダ階層以下にあるファイル / フォルダです。
- 検索結果が表示されている状態で Esc キーを押すと、ファイル / フォルダ管理画面に戻ります。
- 検索方式は部分一致です。

5 ツールを活用する

電子辞書を閲覧する

本機には、「明鏡国語辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」という3つの辞書が内蔵されています。

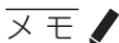
- 1 メニュー画面で「ツール」 - 「電子辞書」を選択し、Enter キーを押す
電子辞書選択画面が表示されます。



ショートカットからも簡単に辞書を使えます。

- Alt + F8 キー : 国語辞典
- Alt + F9 キー : 英和辞典
- Alt + F10 キー : 和英辞典

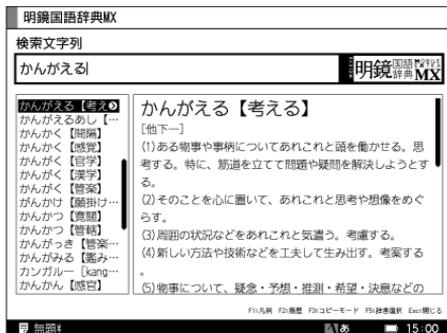
- 2 ◀ / ▶ キー（または Tab キー）で閲覧したい辞書を選択し、Enter キーを押す
 選択した電子辞書が表示されます。



編集画面で文字を選択していると、辞書の検索に引用されて便利です。

3 調べたい単語を入力する

検索結果がリスト表示されます。



- 4 ▲ / ▼ キーで検索結果を選択し、Enter キー（または Tab キー）を押す
 単語説明画面にフォーカスが移動します。

5 ▲ / ▼ キーを押す

単語の説明が長い場合、画面をスクロールさせることで、全文が確認できます。

メモ

- 検索をやり直すときは、Esc キーを押してください。検索欄がクリアされ、再度単語が入力できるようになります。
- F1 キーを押すと、凡例が確認できます。
- F2 キーを押すと、検索履歴が確認できます。辞書ごとに、過去 100 件の履歴までさかのぼることができます。
- 検索時に F3 キーを押すと、コピーモードが表示されます。
- 「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」を開いている場合、F4 キーを押すと、発音記号の解説が確認できます。

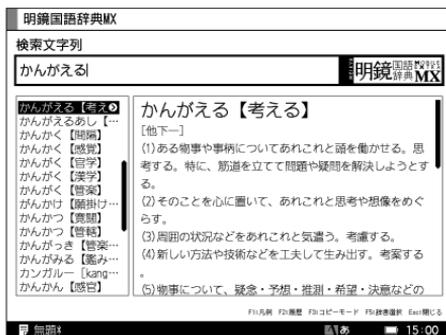
電子辞書の内容をコピーする

調べた単語についての説明を、編集中のファイルにコピーできます。

注意!

英和辞書・和英辞書で表示される発音記号はコピーできません。

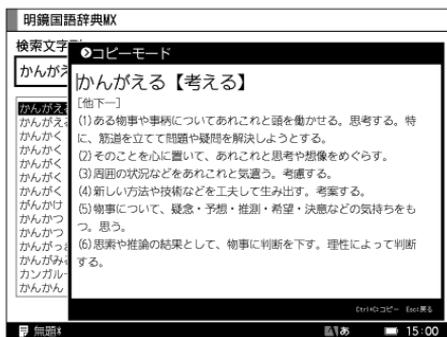
1 コピーしたい単語を入力する



2 ▲/▼キーで単語を選択し、Enter キー（または Tab キー）を押す
単語説明画面にフォーカスが移動します。

3 F3 キーを押す

コピーモード画面が表示されます。通常のコピーと同じく、テキストを選択して Ctrl + C キーを押すことで、説明内容がコピーできます。



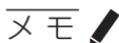
©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei and Taishukan,2008-2011

©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei and Taishukan,2008-2011

©KITAHARA Yasuo and Taishukan,2008-2011

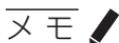
QRコードを作成する

編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。携帯電話やスマートフォンなどの QR コードリーダーを利用することで、長文のメール作成やブログの更新などが簡単におこなえます。



QR コード画面は、Alt + F5 キーですぐに呼び出せます。

- 1 メニュー画面で「ツール」 - 「QR コード」を選択し、Enter キーを押す
テキストデータが変換され、QR コード画面が表示されます。



- F1 キーで QR コードのサイズ変更ができます。
大 / 全角 500 文字、中 / 全角 300 文字、小 / 全角 100 文字
- 変換するテキストは、最大 16 個の QR コードに分割して表示されます。
総数は QR コードの上に表示されます。
- QR コードに変換できる最大文字数は全角 8,000 文字です。(サイズが「大」の場合)
- 改行、Tab、Space などの制御文字はそれぞれ 1 文字として計算されます。

● QRコードが複数作成された場合

1. ▲ / ▼ キーを押す

表示される QR コードが切り替わります。

以下のキー操作でも、表示される QR コードが切り替えられます。

Tab キー / Enter キー / Space キー

次の QR コードを表示します。

Shift + Tab キー / Shift + Enter キー / Shift + Space キー

前の QR コードを表示します。

注意！

ご使用の携帯電話やスマートフォンの機種によっては、QRコードの読み取り機能がついていても、画面のコントラストや文字数などの条件により、データの読み取りができない場合があります。また、QRコードのサイズを変更しても、データの読み取りができない場合があります。あらかじめご了承ください。

メモ

- テキストデータの量などによっては、変換に時間がかかる場合があります。
- QRコードの読み取り方法、読み込んだテキストデータの処理（保存先や対応アプリ）については、携帯電話やスマートフォン各機種の取扱説明書でご確認をお願いいたします。
- 携帯電話やスマートフォンの操作・仕様については携帯電話やスマートフォン各機種の製造元へお問い合わせください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、画面のリフレッシュをおこなってください。（→ 92 ページ）
- QRコードの読み取りには、iOS 専用アプリ「pomera QR code reader」を推奨しております。

詳しくは、弊社 HP をご覧ください。

http://kingjim.jp/pomera_qr/

日付メモ（カレンダー）を作成する

日付を指定して、メモを作成します。スケジュールのメモや日記の作成などができます。

- 1 メニュー画面で「ツール」 - 「カレンダー」を選択し、Enter キーを押す
カレンダー画面が表示されます。

カレンダー表示						
2018年 5月						
Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

メモ

- F1 キー（Shift + Tab キー）で前の月または前の週のカレンダーを表示します。
- F2 キー（Tab キー）で次の月または次の週のカレンダーを表示します。
- F3 キーで月表示、週表示、日表示の切り替えができます。

- 2 ▲/▼/◀/▶キーでメモを作成したい日付を選択し、Enter キーを押す
日付メモの編集画面が表示されます。



メモ

保存できる日付メモは1日に対して1件のみです。すでに日付メモの存在する日付を選択すると、編集画面に既存のメモが表示されます。

- 3 テキストを入力し、Esc キーを押す

日付メモが保存され、カレンダー画面が表示されます。

注意

- 日付メモは通常のテキスト編集画面では編集できません。
- メモリ容量には限りがあります。残り容量が少なくなった場合は、PCリンクを使って重要なメモのバックアップを取るか、不要なメモを削除してください。
- 本機は、2000/1/1 から 2099/12/31 までのカレンダーを搭載しています。

メモ

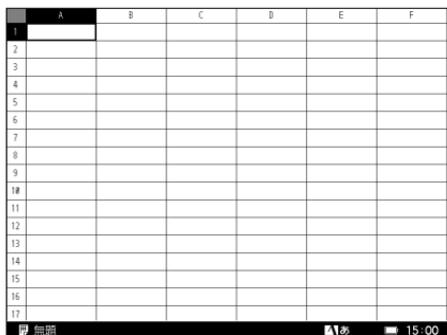
- 日付メモが保存された日付には、「●」マークが表示されます。
- 日付メモの最大文字入力数は 1 日あたり全角 8,000 文字です。
- 改行、Tab、Space などの制御文字はそれぞれ 1 文字として計算されます。
- 日付メモのテキストデータは、本体メモリに保存されます。SD カードには保存できません。
- 日付メモのテキストデータは、「Pomera_memo」フォルダに保存されます。PC リンクを使うとパソコンから確認できます。(→ 76 ページ)
- メモリ容量を超えた場合、新しいメモは作成できませんが、過去の日付メモは閲覧できます。
- 日付メモの編集集中に Menu キーを押した場合、使用できない機能が一部あります。
- 「●」マークのある日付を選択し、Delete キーを押すと確認画面が表示され、日付メモが削除できます。

表を作成する

本機では、表形式のファイル（.csv 形式）を作成できます。複数の項目や数値を管理したい場合に、ご活用ください。

1 メニュー画面で「ツール」 - 「表」を選択し、Enter キーを押す

表の編集画面が表示されます。



	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						

メモ

- 編集中のファイルがある場合、保存確認画面が表示されます。
- 編集したファイルは、.csv（カンマ区切り）ファイルで保存されます。
- 編集した表は QR コードに変換できます。その場合、ファイル形式はセルの内容がカンマで区切られた .txt ファイルになります。

表を編集する

表の編集画面では、テキスト編集画面と同様の操作で入力、編集ができます。キーボード操作も基本的にテキスト編集画面と同じです。

セルを選択、編集する場合は、以下の手順でおこなってください。

1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーでセルを選び、テキストを入力する

	A	B	C	D	E	F
1	番号	商品名	数量	価格		
2	1	みかん	一個	¥80		
3	みかん					
4						
5						
6						
7	6	マンゴー	三個	¥500		
8	7	梨	三個	¥200		
9	8	かき	一個	¥150		
10	9	ぶどう	一個	¥500		
11	10	オレンジ	一個	¥130		
12						
13						
14						
15						
16						
17						

2 テキスト入力後、Enter キーを押す

セルの内容が変更され、編集エリアが閉じます。

注意

- 本機ではセルを利用した計算などの処理はできません。
- タブ区切りの .csv ファイルは、本機では開けません。
- 表編集中の最大文字サイズは 32dot です。
- 表編集中は、文字情報表示では行数が表示されません。
- 表編集中は、使用できない機能が一部あります。
- 作成した表をテキストに貼り付けることはできません。

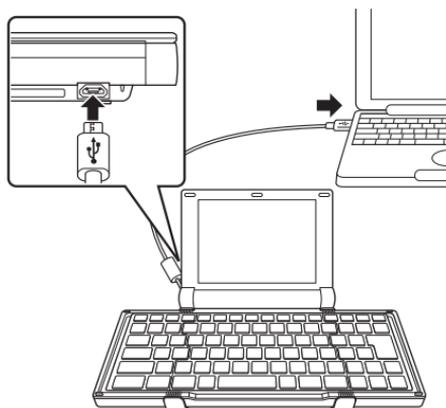
メモ

- セル内の最大文字数は全角 500 文字です。
- 最大 27 列 (A~Z)、1,000 行まで編集することができます。

パソコンと接続する

本機とパソコンをお手持ちの micro USB (A-microB タイプ) ケーブルで接続することで、パソコンから本機のファイルへのアクセスが可能になります。

- 1 本機の電源を入れた状態で、本機とパソコンをお手持ちの micro USB ケーブルで接続する



- 2 メニュー画面で、「ツール」 - 「PC リンク」を選択して、Enter キーを押す
本機が PC リンク状態となり、新しいハードウェアとしてパソコンに本体メモリ、SD カードが認識されます。
本機のテキスト編集画面には「PC リンク中」画面が表示されます。

注意 !

- 対応 OS については、「仕様」(→ 140 ページ) をご確認ください。
- micro USB ケーブルはデータ転送できるものをご使用ください。充電専用のものは使用できません。

メモ

- 本機にパスワードが設定されている場合は、認証画面が表示されます。パスワードを入力して、Enter キーを押してください。パスワードが間違っていると、本機は PC リンク状態になりません。
- 本機の電源が入っていない状態で、パソコンと micro USB ケーブルで接続した場合、自動的に PC リンク状態となります。

パソコンでポメラ内のファイルを開く

パソコンと接続すると、パソコンから本体メモリやSDカードのファイルを開けます。ここでは、Windows 10 での操作を例にしています。

1 パソコンの「エクスプローラー」 - 「PC」から、本体メモリ（またはSDカード）のドライブを選択する

本体メモリ（またはSDカード）内のフォルダが表示されます。

2 開きたいファイルを右クリックし、表示されたメニューから「開く」を選択する

パソコンのアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

メモ

- 本体メモリには 4 つのフォルダがあります。
 - 「Pomera」フォルダ：
編集したテキストファイルやフォルダが保存されています。
 - 「Pomera_memo」フォルダ：
日付メモのファイルが、月ごとのフォルダに分かれて保存されています。
 - 「PcAtok」フォルダ：
PC版 ATOK ユーザー辞書を保存します。(→ 48 ページ)
 - 「ScreenShot」フォルダ：
本体で撮影したスクリーンショットが BMP 形式で保存されます。(→ 127 ページ)
- DM200 を除くポメラでお使いのテキストファイル、日付メモのファイルは DM30 にある同名のフォルダに移動して使用できます。

本機とパソコンの間でファイルをコピー / 移動する

パソコンと接続すると、本体メモリやSDカードとパソコンの間で様々なファイルをコピー（または移動）できます。ここでは、Windows 10 での操作を例にしています。

注意！

- 本機では、全角 50,000 文字を超える文字数のファイルは開けません。
- 本機では、ファイル名 / フォルダ名が全角 18 文字を超えるファイルは開けません。
- 本機では、.txt ファイル、.csv ファイル（カンマ区切り）以外のファイルは開けません。

1 「エクスプローラー」から、コピー（または移動）したいファイルのあるフォルダを選択する

フォルダ内のファイルが表示されます。

2 ファイルを右クリックし、表示されたメニューから「コピー（または切り取り）」を選択する

3 ファイルのコピー（または移動）先のフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「貼り付け」を選択する

ファイルがコピー（または移動）されます。

注意！

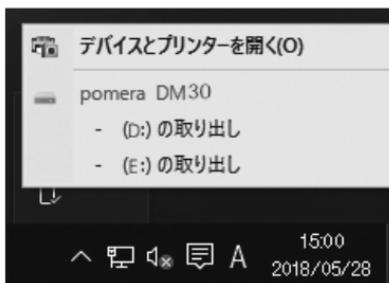
パソコンから micro USB ケーブルを取り外すときは、正しい操作をおこなってください。正しい操作をおこなわずに取り外すと、データが破損する原因となります。（→ 79 ページ）

本機をパソコンから取り外す

本機をパソコンから取り外す場合、パソコンから「安全なハードウェアの取り外し」をおこない、PC リンク状態を解除します。ここでは Windows 10 での操作を例にしています。

1 パソコンの通知領域にある USB アイコン を右クリックする

メニューが表示されます。



メモ

- 通知領域に  が表示されている場合は、 をクリックして USB アイコン  をクリックしてください。
- パソコンに表示されるアイコンはご使用の OS によって異なります。

2 本体メモリ（または SD カード）の取り出しを選択し、表示されたメッセージの「×」ボタンをクリックする

ハードウェアの取り外しが実行されます。



メモ

SD カードを挿入している場合は、SD カードのドライブも取り外す必要があります。

3 micro USB ケーブルを取り外す

注意!

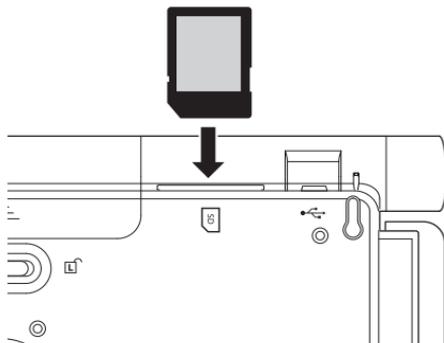
- 本機をパソコンから取り外すときは、正しい操作をおこなってください。正しい操作をおこなわずに取り外すと、データが破壊されるおそれがあります。
- micro USB ケーブルを取り外すまで電源は切れません。
- 「安全なハードウェアの取り外し」がおこなえない場合は、パソコンの電源をオフしてから micro USB ケーブルを外してください。

FlashAir を使用する

本機で編集したファイルを、パソコンやスマートフォンへ転送できます。この機能を使用するには、FlashAir™（別売り）が必要です。

1 FlashAir™（別売り）を入れる

カードの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで奥へ入れます。



注意！

- 本機には FlashAir™ は同梱しておりません。
- FlashAir™（別売り）および無線 LAN ネットワーク環境が必要となります。
- 無線 LAN ネットワークの環境設定は当社のサポート対象外となります。お問い合わせにつきましてはお引受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- FlashAir™ がロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、データは操作できません。
- FlashAir™ のソフトウェアバージョンは最新のものをお使いください。
- 本機で動作確認済みの FlashAir™ の情報は、弊社 HP にてご確認ください。
<http://www.kingjim.co.jp/>

パソコンやスマートフォンにファイルを転送する

1 メニュー画面で「ツール」 - 「FlashAir」を選択し、Enter キーを押す

「ファイル転送中」画面が表示され、FlashAir™ が無線 LAN オン状態になります。



注意!

- 転送したいファイルをあらかじめ FlashAir™ (SD カード) に保存する必要があります。
- 電池残量が少なくなった場合、ファイル転送は使用できません。

2 パソコンやスマートフォンの無線 LAN 機能をオンにして FlashAir™ と接続する

メモ

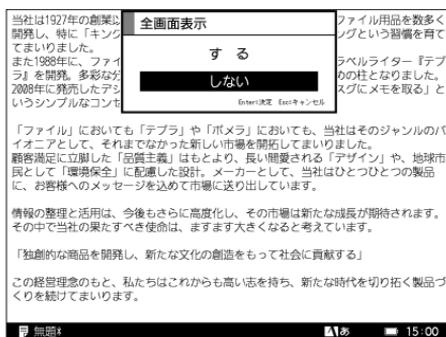
- FlashAir™ のパソコンやスマートフォンへの接続およびファイルの表示について、詳しい操作方法はメーカー HP にてご確認ください。
- FlashAir™ 内のファイルの読み取りには、iOS 専用アプリ「pomera QR code reader」を推奨しております。
詳しくは、弊社 HP をご覧ください。
http://kingjim.jp/pomera_qr/

6 | 画面表示を設定する

全画面表示する

編集画面にあるステータスバーを非表示にします。

- 1 メニュー画面で「表示」 - 「全画面表示」を選択し、Enter キーを押す
「全画面表示」画面が表示されます。



- 2 ▲/▼キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す
全画面表示の画面に変更され、メニュー画面に戻ります。

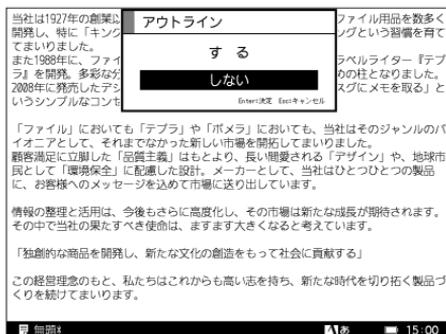
メモ

- 編集画面で F11 キーを押すと、全画面表示の切り替えができます。
- 全画面表示でも、編集画面以外ではステータスバーが表示されます。

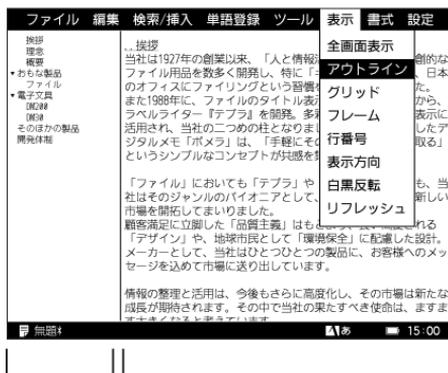
アウトライン表示する

編集画面を縦に分割し、左側に見出し一覧、右側に本文の編集画面を表示します。見出し単位で移動したり、位置を入れ替えたりすることができます。章を立てて文章を作成するときに役立つ機能です。

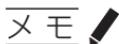
- 1 メニュー画面で「表示」 - 「アウトライン」を選択し、Enter キーを押す
「アウトライン」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す
アウトライン表示の画面に変更され、メニュー画面に戻ります。



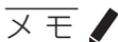
見出しウィンドウ 編集ウィンドウ



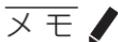
Ctrl + F1 キーでもアウトライン表示に切り替えることができます。

● ウィンドウを切り替える場合

Alt + Tab キー、Ctrl + Tab キーのいずれかを押す



- メニュー画面の「編集」 — 「切り替え」を選択しても、ウィンドウを切り替えることができます。
- 見出しウィンドウで見出しを選択して Enter キーを押すと、編集ウィンドウがアクティブになります。

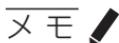


- 編集ウィンドウでは、見出しになっているテキストの下に点線が表示されます。
- 編集ウィンドウのカーソル位置に対応する見出しには、点線枠が表示されます。
- 見出しウィンドウにフォーカスがある場合、編集ウィンドウでは見出しに対応するテキストの下に太線が表示されます。
- アウトライン表示をしているときは、メニュー画面に「編集」 — 「すべて展開」および「すべて折りたたみ」が追加され、これを選択しても見出しの表示を切り替えることができます。
- 見出しウィンドウでは編集（階層変更、移動、コピー、切り取り、貼り付け）ができますが、テキスト入力はできません。
- 「アウトライン」「フレーム」を併用して使うことはできません。

■ 見出しを作成する

- 1 編集ウィンドウで、見出しにしたいテキストの行頭に「.」（半角ピリオド）、または「#」（半角シャープ）を追加する

見出しウィンドウに見出しが追加されます。

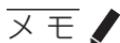


- 半角ピリオドまたは半角シャープの数を増やすと、見出しの階層が深くなります。
- 見出しは最大 10 階層まで作成できます。
- 見出しの深さが 2 階層以上ある場合は、◀キーで見出しを折りたたむ、▶キーで見出しを展開することができます。
- 付箋文に登録すると便利です。(→ 39 ページ)

■見出しを移動する

- 1 見出しウィンドウで見出しを選択し、Ctrl + ▲キー（上に移動）または Ctrl + ▼キー（下に移動）を押す

見出しが移動します。

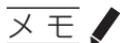


選択した見出しの下の階層も含めて移動します。

■見出しの階層を変更する

- 1 見出しウィンドウで見出しを選択し、Ctrl + ►キー（階層を下げる）または Ctrl + ◀キー（階層を上げる）を押す

見出しウィンドウおよび編集ウィンドウの見出しの階層が、連動して変更されます。



選択した見出しの下の階層も含めて変更します。

■見出しのコピー / 切り取り、貼り付けをおこなう

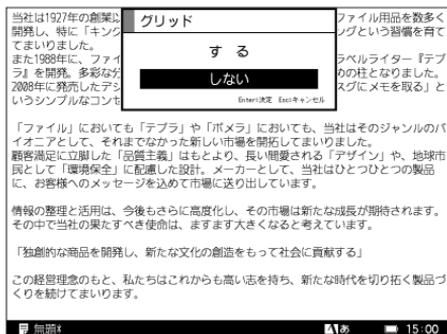
- 1 見出しウィンドウで見出しを選択し、Ctrl + C キー（コピー）または Ctrl + X キー（切り取り）を押す

- 2 ▲ / ▼キーで貼り付けたい見出しを選択し、Ctrl + V キー（貼り付け）を押す
選択した見出しの上に、見出しが追加されます。

グリッドを表示する

テキストの編集画面の背景に、罫線を表示します。

- 1 メニュー画面で「表示」—「グリッド」を選択し、Enter キーを押す
「グリッド」画面が表示されます。

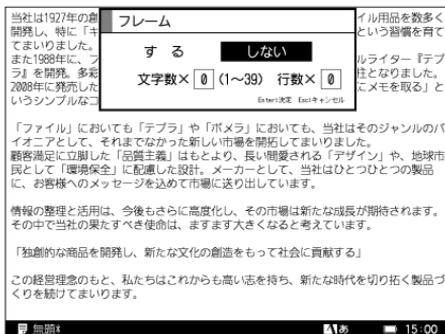


- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す
テキスト編集画面の背景が罫線に変更され、メニュー画面に戻ります。

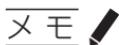
編集するテキストの行数と字数を指定する

あらかじめ編集画面の行数や文字数を設定できます。限られた文字数で文章を作成するときに役立つ機能です。

- 1 メニュー画面で「表示」 - 「フレーム」を選択し、Enter キーを押す
「フレーム」画面が表示されます。



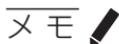
- 2 ◀/▶キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す
- 3 ◀/▶キーで「文字数」と「行数」を選び、数字キーで数値を入力する



設定できる文字数は、文字サイズによって異なります。

- 4 Enter キーを押す

テキスト編集画面の表示が、設定した文字数と行数に変わり、メニュー画面に戻ります。

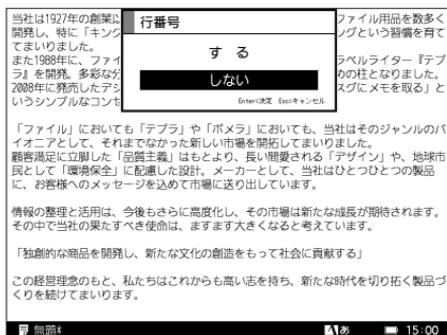


「フレーム」画面で「しない」を選択すると、フレーム表示を解除できます。

行番号を表示する

テキスト編集画面に行番号を表示します。

- 1 メニュー画面で「表示」 — 「行番号」を選択し、Enter キーを押す
「行番号」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼キー (または Tab キー) で「する」を選択し、Enter キーを押す
テキスト編集画面に行番号が表示され、メニュー画面に戻ります。

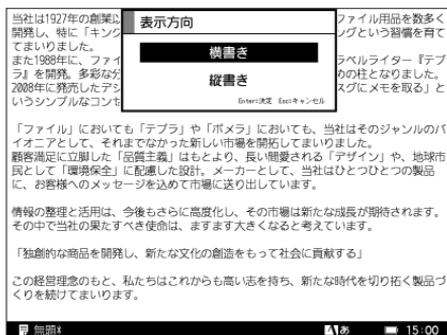
メモ

Ctrl + F5 キーでも行番号の表示を切り替えられます。

表示方向を切り替える

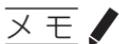
テキストの表示方向を、縦か横のどちらにするか選択します。

- 1 メニュー画面で「表示」 - 「表示方向」を選択し、Enter キーを押す
「表示方向」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「縦書き」、「横書き」を選択し、Enter キーを押す

テキストの表示が設定した方向に変更され、メニュー画面に戻ります。

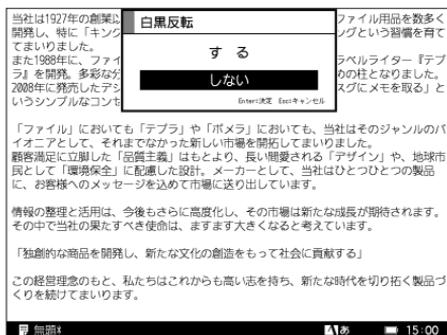


F8 キーでも表示方向を切り替えられます。

背景色を白黒反転する

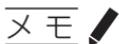
テキスト編集画面の背景色とテキストを白黒反転させて表示します。

- 1 メニュー画面で「表示」 — 「白黒反転」を選択し、Enter キーを押す
「白黒反転」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) で「する」を選択し、Enter キーを押す

テキスト編集画面の背景色とテキストの色が白黒反転し、メニュー画面に戻ります。



F9 キー、Ctrl + F6 キーでも白黒反転できます。

画面をリフレッシュする

画面を一度白黒反転させて、画面に蓄積された残像を消去します。

1 メニュー画面で「表示」 — 「リフレッシュ」を選択し、Enter キーを押す

メモ

- F12 キーでも画面をリフレッシュできます。
- 画面のリフレッシュを頻繁におこなうと、電池の消耗が早くなります。
- 電池残量が少なくなると、リフレッシュ機能は無効となります。

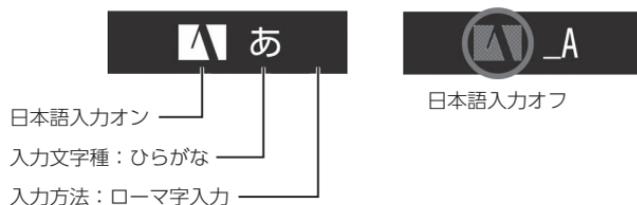
7 | 書式の設定

ATOK を設定する

ATOK の文字入力に関する設定をおこないます。

■ ATOK パレットについて

テキスト編集画面のステータスバーで、現在設定されている文字の種類や入力モードなど、文字の入力・変換に必要な情報を確認できます。



入力文字種

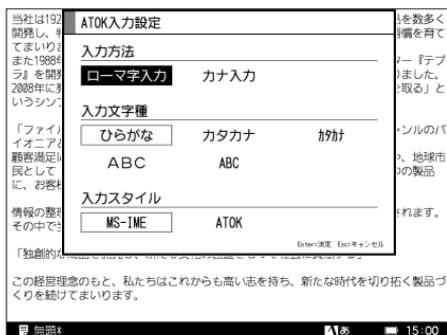


入力方法



ATOKの入力方法などを設定する

- 1 メニュー画面で「書式」 - 「ATOK入力設定」を選択し、Enter キーを押す
「ATOK入力設定」画面が表示されます。



- 2 Tab キーでカーソルを移動し、◀ / ▶ キーで設定したい内容を選択する

入力方法：

「ローマ字入力」「カナ入力」から選択できます。

入力文字種：

「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英数」「半角英数」から選択できます。

入カスタイル：

「MS-IME」「ATOK」から選択できます。(→ 128 ページ)

- 3 Enter キーを押す

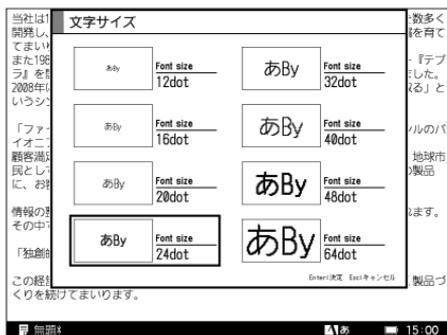
文字の入力方法が設定され、メニュー画面に戻ります。

テキスト編集画面のステータスバーに、設定した内容がアイコンで表示されます。

表示文字サイズを設定する

テキストを編集するとき使用する文字サイズを設定します。

- 1 メニュー画面で「書式」 - 「文字サイズ」を選択し、Enter キーを押す
「文字サイズ」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キー（または Tab キー）キーで設定したい内容を選択し、Enter キーを押す

文字サイズが設定され、メニュー画面に戻ります。

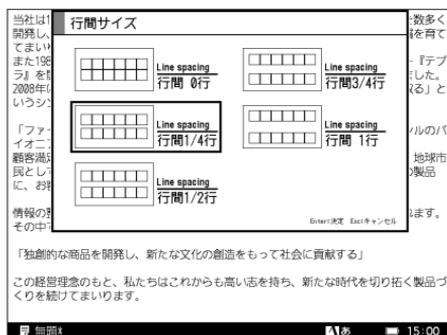
文字サイズ：

[12dot] [16dot] [20dot] [24dot] [32dot] [40dot] [48dot] [64dot]
から選択できます。

行間サイズの設定をする

行間のサイズを選択します。

- 1 メニュー画面で「書式」－「行間サイズ」を選択し、Enter キーを押す
「行間サイズ」画面が表示されます。



- 2 ▲/▼/◀/▶キー（または Tab キー）で行間を選択し、Enter キーを押す
行間が設定され、メニュー画面に戻ります。

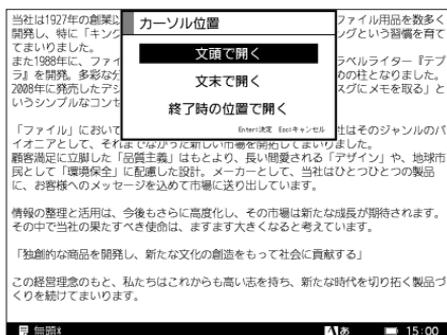
行間サイズ：

「0行」「1/4行」「1/2行」「3/4行」「1行」から選択できます。

起動時のカーソル位置を設定する

本機を起動したときのカーソル位置を設定します。

- 1 メニュー画面で「書式」—「カーソル位置」を選択し、Enter キーを押す
「カーソル位置」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で項目を選択し、Enter キーを押す

文頭で開く：

文頭にカーソルを置きます。

文末で開く：

文末にカーソルを置きます。

終了時の位置で開く：

ファイルを終了したときの位置にカーソルを置きます。

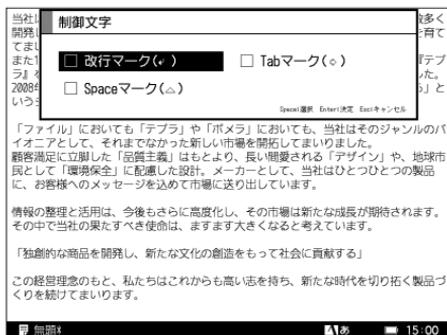
メモ

- 「文頭で開く」「文末で開く」を設定した場合、以降に開くファイルに適用されます。
- 「終了時の位置で開く」を設定した場合、電源をオフしても編集集中のファイルのカーソル位置を保持します。

制御文字を表示する

テキスト編集画面で「改行マーク」「Tab マーク」「Space マーク」を表示するかどうか設定します。

- 1 メニュー画面で「書式」→「制御文字」を選択し、Enter キーを押す
「制御文字」画面が表示されます。

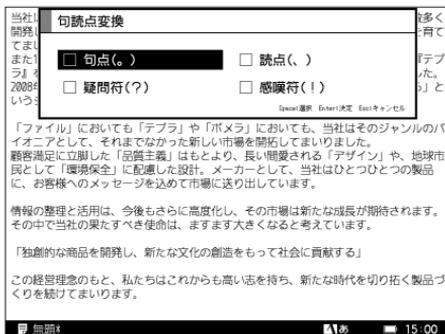


- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キー（または Tab キー）で表示したい制御文字を選択し、Space キーを押す
- 3 Enter キーを押す
制御文字が設定され、メニュー画面に戻ります

句読点入力の自動変換を設定する

句読点などを入力すると、それまで未変換だったテキストが自動的に変換を開始するように設定します。

- 1 メニュー画面で「書式」 - 「句読点変換」を選択し、Enter キーを押す
「句読点変換」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶ キー（または Tab キー）で項目を選択し、Space キーを押す

句点 (。)、読点 (、)、疑問符 (?)、感嘆符 (!) を入力したときに、自動変換をおこなうかどうか設定できます。

- 3 Enter キーを押す

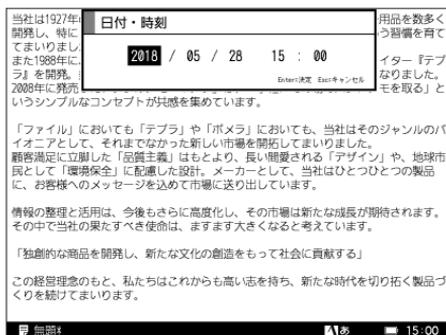
自動変換が設定され、メニュー画面に戻ります。

8 | 本機の設定

日時を設定する

本機に内蔵されている時計を設定できます。

- 1 メニュー画面で「設定」－「日付・時刻」を選択し、Enter キーを押す
「日付・時刻」画面が表示されます。



- 2 ◀ / ▶ キーで変更したい項目を選択し、▲ / ▼ キーで数値を選択する

- 3 Enter キーを押す

入力した日付と時刻が設定され、メニュー画面に戻ります。

メモ

- 2000/1/1 00:00 から 2099/12/31 23:59 まで設定可能です。
- 電池交換の際にコイン電池の残量がない場合は、日付と時刻が工場出荷状態にリセットされます。再度設定してください。

電源を管理する

使用する電池を設定する

本機にセットした単3形電池の種類を設定します。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「電源管理」を選択し、Enter キーを押す
「電源管理」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、「電池設定」を選択する
- 3 ◀ / ▶ キーで電池の種類を選択し、Enter キーを押す
使用する電池の種類が設定され、メニュー画面に戻ります。

オートパワーオフを設定する

電源を入れてから一定時間操作をしなかったときに、画面の表示が消えるまでの時間を設定できます。初期設定は5分です。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「電源管理」を選択し、Enter キーを押す
「電源管理」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、「オートパワーオフ設定」を選択する

- 3 ◀ / ▶ キーで設定したい時間を選択し、Enter キーを押す
自動的に電源がオフする時間が設定され、メニュー画面に戻ります。

注意!

PC リンク状態ではオートパワーオフは作動しません。

メモ

設定時間に「しない」を選択すると、オートパワーオフの設定を解除できます。

オープンパワーオンを設定する

本機を開いたときに、自動的に電源が入るように設定できます。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「電源管理」を選択し、Enter キーを押す
「電源管理」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) でカーソルを移動し、「オープンパワーオン設定」を選択する
- 3 ◀ / ▶ キーで「する」を選択し、Enter キーを押す
オープンパワーオンが設定され、メニュー画面に戻ります。

パワーオフ画面を設定する

画面オフ時に表示しておく画面を設定できます。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「電源管理」を選択し、Enter キーを押す
「電源管理」画面が表示されます。



- 2 ▲/▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、「パワーオフ画面」を選択する

- 3 ◀/▶キーで「画面オフ」を選択し、Enter キーを押す
パワーオフ画面が設定され、メニュー画面に戻ります。

メモ

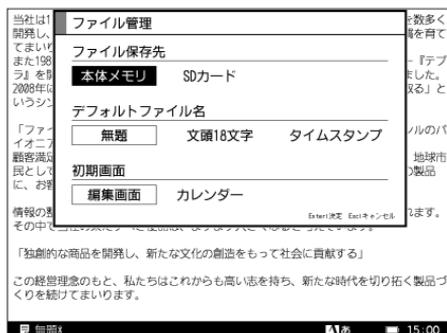
パワーオフ画面を「編集画面」に設定した場合、電源オフ時にステータスバーのアイコンなどは表示されません。

ファイルの設定をする

ファイルの保存方法を設定する

新規テキストを保存する場合のデフォルトの保存先を設定します。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「ファイル管理」を選択し、Enter キーを押す
「ファイル管理」画面が表示されます。

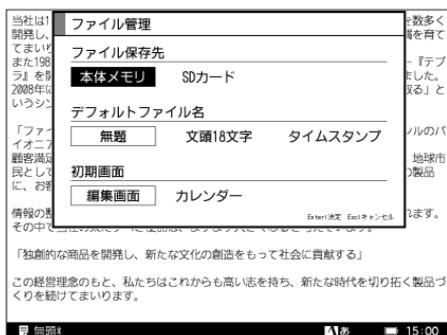


- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、「ファイル保存先」を選択する
- 3 ◀ / ▶ キーでファイルの保存先を選択し、Enter キーを押す
ファイルの保存先が設定され、メニュー画面に戻ります。

デフォルトのファイル名を設定する

新規テキストを保存する場合にあらかじめ入力されているデフォルトのファイル名を設定します。

- 1 メニュー画面で「設定」－「ファイル管理」を選択し、Enter キーを押す
「ファイル管理」画面が表示されます。



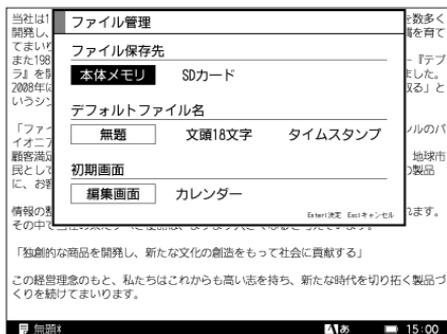
- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) でカーソルを移動し、「デフォルトファイル名」を選択する

- 3 ◀ / ▶ キーでデフォルトファイル名を選択し、Enter キーを押す
デフォルトファイル名が設定され、メニュー画面に戻ります。

起動時の画面を設定する

本機を起動するときの初期画面を設定します。

- 1 メニュー画面で「設定」－「ファイル管理」を選択し、Enter キーを押す
「ファイル管理」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) でカーソルを移動し、「初期画面」を選択する
- 3 ◀ / ▶ キーで初期画面を選択し、Enter キーを押す
初期画面が設定され、メニュー画面に戻ります。

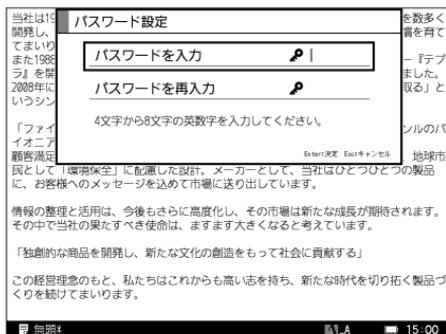
パスワードを設定する

本機を起動するときのパスワードを設定できます。初期状態ではパスワードは設定されていません。

重要

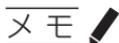
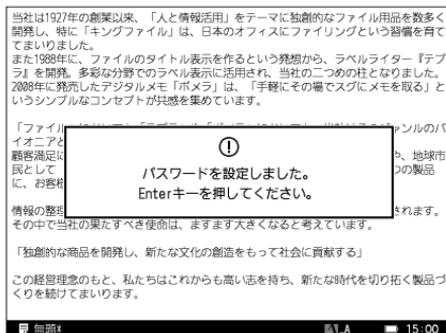
設定したパスワードは、紙に書くなどして忘れないようにしてください。
再び本機をお使いいただくには本体データすべてを消去することとなります。パスワードを忘れてしまったら、当社お客様相談室までお問い合わせください。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「パスワード」を選択し、Enter キーを押す
「パスワード設定」画面が表示されます。



2 「パスワードを入力」「パスワードを再入力」に設定したい文字列を入力し、Enter キーを押す

パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。



パスワードは 4 文字から 8 文字の半角英数字を入力してください。

3 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

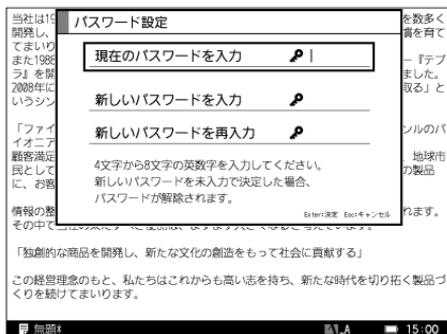
注意!

「パスワード入力」と「パスワード再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

パスワードを変更する

すでに設定されているパスワードを変更できます。

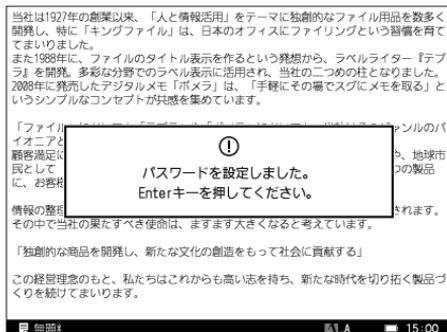
- 1 メニュー画面で「設定」－「パスワード」を選択し、Enter キーを押す
「パスワード設定」画面が表示されます。



- 2 「現在のパスワードを入力」に現在設定されているパスワードを入力する

- 3 「新しいパスワード」「新しいパスワードを再入力」に設定したい文字列を入力し、Enter キーを押す

パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。



メモ

パスワードは 4 文字から 8 文字の半角英数字を入力してください。

4 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

注意

「新しいパスワード」と「新しいパスワードを再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

メモ

- 「現在のパスワードを入力」に現在設定されているパスワードを入力し、新しいパスワードを未入力で Enter キーを押すと、パスワードを解除できます。
- スリープ状態から復帰した際は、パスワードの入力画面は表示されません。

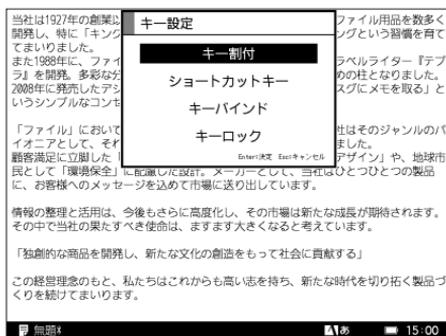
キーボードの機能を設定する

一部のキーの配置を変更、または修飾キーをロック状態にします。

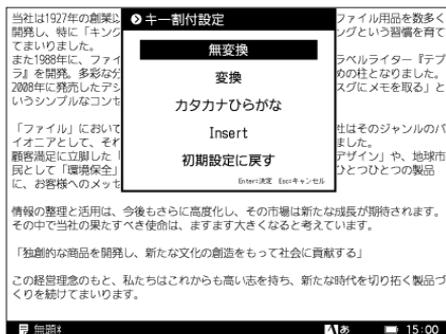
キー割付を設定する

一部キーに設定されている機能を入れ替えて、自分好みにカスタマイズします。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「キー設定」を選択し、Enter キーを押す
「キー設定」画面が表示されます。



- 2 ▲/▼キー (または Tab キー) で「キー割付」を選択し、Enter キーを押す
「キー割付設定」画面が表示されます。



3 ▲ / ▼キー（または Tab キー）で機能を割り当てたいキーを選択し、Enter を押す

キーボード割り付けマップが表示されます。



4 機能を設定したいキーを押す

選択した機能がキーに設定され、「キー割付設定」画面に戻ります。

注意

電源キー、Esc キー、F12 キーには設定できません。

5 Esc キーを押す

メニュー画面が表示されます。

メモ

キーボードの機能の設定を初期状態に戻したい場合は、「初期設定に戻す」を選択し、Enter キーを押してください。確認画面が表示され、キーボードの機能を初期化できます。

ショートカットキーの機能を入れ替える

ショートカットキーに割り当てられている機能を入れ替えて、入力スタイルに合わせてカスタマイズします。

1 メニュー画面で「設定」－「キー設定」を選択し、Enter キーを押す

「キー設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キー（または Tab キー）で「ショートカットキー」を選択し、Enter キーを押す

「ショートカットキー」画面が表示されます。



3 ▲ / ▼キーで機能を割り当てたいショートカットキーを選択し、▶キーを押す

カーソルが右エリアに移動します。

4 ▲ / ▼キーで設定したい機能を選択し、◀キーを押す

5 Enter キーを押す

選択した機能がショートカットキーに設定され、「キー割付設定」画面に戻ります。

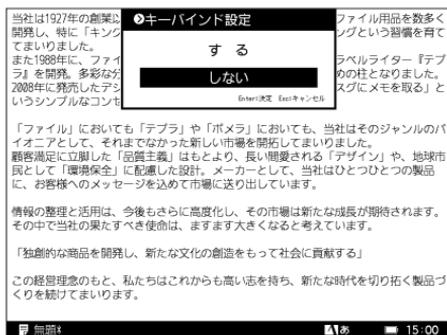
メモ

- カスタマイズできるショートカットキーは、F1～F11 キーと、Ctrl、Alt、Shift キーとの組み合わせも変更できます。F12（リフレッシュ）、Ctrl + F7（単語登録）、Ctrl + F10（ATOK 入力設定）には機能を割り当てることはできません。
- ショートカットキーの機能の設定を初期状態に戻したい場合は、F1 キーを押してください。確認画面が表示され、キーボードの機能を初期化できます。

Caps キーと Ctrl キーの機能を入れ替える

Caps キーと Ctrl キーの機能を入れ替えます。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「キー設定」を選択し、Enter キーを押す
「キー設定」画面が表示されます。
- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「キーバインド」を選択し、Enter キーを押す
「キーバインド設定」画面が表示されます。



- 3 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す
Caps キーと Ctrl キーの機能が入れ替わり、「キー設定」画面に戻ります。

修飾キーをロックする

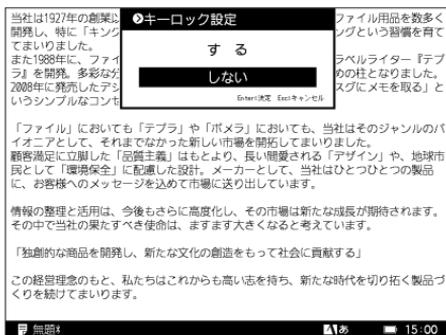
Shift キーと Ctrl キーと Alt キーをそれぞれ押したままの状態でもロックできます。同時に 2 つのキーを押さなくても、ショートカットキーなどを使用することができます。この機能を使用すると、片手でも簡単にテキスト入力ができます。

1 メニュー画面で「設定」 - 「キー設定」を選択し、Enter キーを押す

「キー設定」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「キーロック」を選択し、Enter キーを押す

「キーロック設定」画面が表示されます。



3 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で「する」を選択し、Enter キーを押す

キーロックが設定され、「キー設定」画面に戻ります。

4 Menu キーを押す

テキスト編集画面に戻ります。

5 Shift キー、Ctrl キー、Alt キーのうち、いずれかのキーを押す

押したキーがロック状態になり、キーロックアイコン  が表示されます。

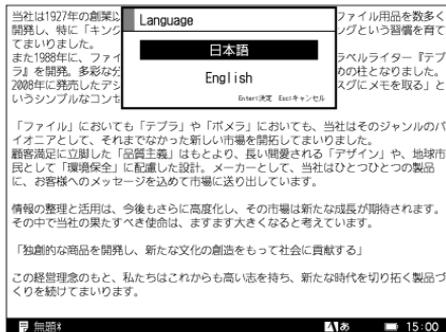
メモ

- ロック状態のキーは、一度入力操作をおこなうと解除されます。
- ショートカットキーなどの入力をおこなわない場合でも、一度キー操作をおこなうと解除されます。
- 一度にロックできるキーは 1 つだけです。
- 修飾キーを 2 つ以上組み合わせたショートカットキーなどの入力はできません。
- 再度キーをロックしたい場合は、手順 5 を繰り返してください。

本体の言語を切り替える

メニュー画面、警告画面、システムメッセージの言語を選択します。

- 1 メニュー画面で「設定」 — 「Language」を選択し、Enter キーを押す
「Language」画面が表示されます。



- 2 ▲ / ▼ キー（または Tab キー）で言語を選択し、Enter キーを押す
言語設定が保存され、メニュー画面に戻ります

ヘルプを表示する

本機で使用できるショートカットキーの一覧とローマ字入力表、最新情報のリンク先を表示します。

- 1 メニュー画面で「設定」－「ヘルプ」を選択し、Enter キーを押す
「ヘルプ」画面が表示されます。



- 2 ◀/▶キー（または Tab キー）でページを切り替える

メモリをフォーマットする

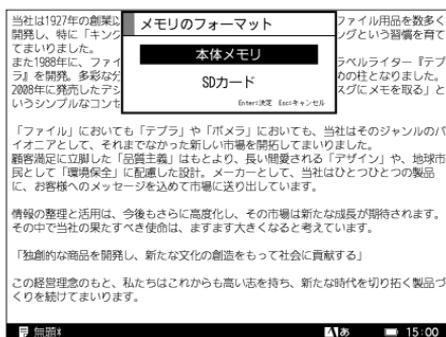
本体メモリをフォーマットする

本機の内部メモリにあるすべてのファイルやフォルダを消去して、フォーマットします。

注意!

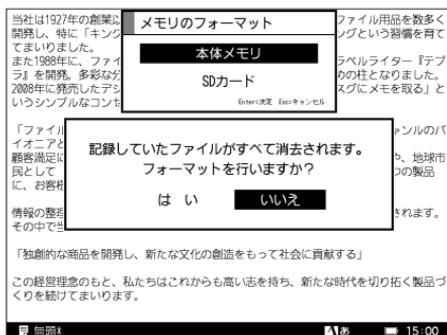
- フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。
- ユーザー設定は初期化されません。

- 1 メニュー画面で「設定」－「フォーマット」を選択し、Enter キーを押す
「メモリのフォーマット」画面が表示されます。



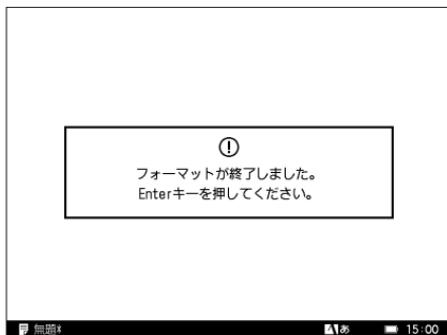
2 ▲/▼キー（または Tab キー）で「本体メモリ」を選択し、Enter キーを押す

フォーマット確認画面が表示されます。



3 ◀/▶キー（または Tab キー）で「はい」を選択し、Enter キーを押す

内部メモリがフォーマットされ、フォーマット終了のメッセージが表示されます。



4 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

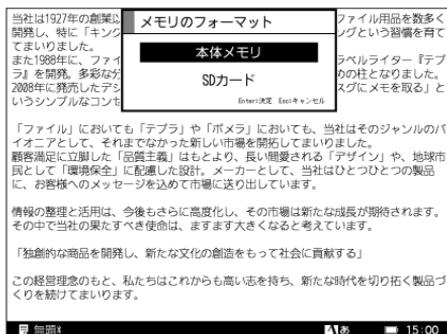
SDカードをフォーマットする

本機に挿入したSDカードのファイルをすべて消去し、フォーマットできます。

注意!

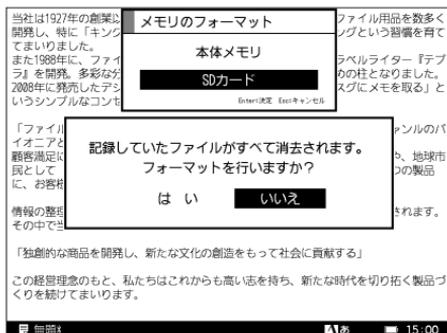
フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。

- 1 メニュー画面で「設定」 - 「フォーマット」を選択し、Enter キーを押す
「メモリのフォーマット」画面が表示されます。



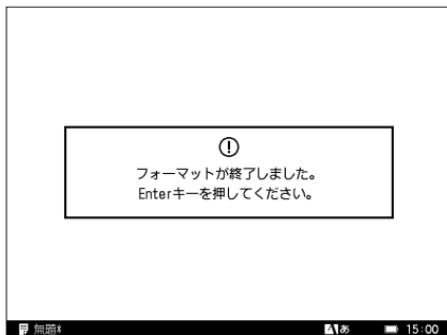
- 2 ▲ / ▼ キー (または Tab キー) で「SDカード」を選択し、Enter キーを押す

フォーマット確認画面が表示されます。



3 ◀/▶キー（または Tab キー）で「はい」を選択し、Enter キーを押す

SD カードがフォーマットされ、フォーマット終了メッセージが表示されます。



4 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

注意!

- SD カードの容量により、フォーマットにかかる時間は異なります。
- SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、SD カードのデータは操作できません。

本体情報を表示する

ソフトウェアのバージョン情報と、本体メモリの使用容量 / 空き容量を表示します。
SD カードを挿入している場合は、SD カードの使用容量 / 空き容量も表示します。

- 1 メニュー画面で「設定」 — 「本体情報」 を選択し、Enter キーを押す
「本体情報」 画面が表示されます。

メモ

本体情報の表示には時間がかかります。

ソフトウェアのアップデートについて

最新版ソフトウェアの情報や、アップデートの詳しい手順については、弊社 HP (<http://www.kingjim.co.jp/support/pomera/dm30>) をご参照ください。

メモ

ソフトウェアをアップデートするには、お手持ちの micro USB ケーブルと SD カードを本機にセットする必要があります。詳しくは「SD カードをセットする (別売り)」 (→ 15 ページ) を参照してください。

9 | 付録

ショートカットキー一覧

本機では、ポメラ専用のショートカットキーに加え、選択した入力スタイル（MS-IME/ATOK）のショートカットキーを使用できます。

メモ

メニュー画面で「設定」 - 「ヘルプ」を選択し、Enter キーを押すと、ショートカットキーの一覧が表示されます。

ポメラショートカットキー全般

●編集操作	
付箋文の挿入	F1 / Alt + F
タイムスタンプ	F2 / Alt + E
次を検索（下方向）	F3 / Alt + O
次を検索（上方向）	Shift + F3
繰り返し動作	F4 / Alt + V
付箋文ジャンプ（下方向）	F5 / Alt + H
付箋文ジャンプ（上方向）	Shift + F5
文字サイズ変更（大）	F6 / Alt + K
文字サイズ変更（小）	Shift + F6
文字情報表示	F7 / Alt + I
表示方向切り替え	F8
白黒反転	F9
名前をつけて保存	F10
全画面表示	F11
リフレッシュ	F12
文字の選択	Shift + ▲ or ▼ or ◀ or ▶
Caps Lock（英字を大文字に固定）	Shift + Caps
Tab 削除	Shift + Tab

●編集操作	
ページアップ	Alt + ▲
ページダウン	Alt + ▼
行頭へ移動	Alt + ◀
行末へ移動	Alt + ▶
ヘルプ	Alt + Menu
画面切り替え (アウトライン)	Alt + Tab / Ctrl + Tab
PC リンク	Alt + P
カレンダー表示	Alt + F1
本体情報表示	Alt + F2
定型文	Alt + F3
文字パレット	Alt + F4
QR コード表示	Alt + F5
表	Alt + F6
FlashAir	Alt + F7
国語辞典	Alt + F8
英和辞典	Alt + F9
和英辞典	Alt + F10
新規作成	Ctrl + N
開く	Ctrl + O
上書き保存	Ctrl + S
検索	Ctrl + F
置換	Ctrl + R
行指定ジャンプ	Ctrl + G
元に戻す	Ctrl + Z / Alt + Backspace
やり直し	Ctrl + Y / Ctrl + Shift + Z
切り取り	Ctrl + X
コピー	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V
すべて選択	Ctrl + A
バックスペース	Ctrl + H

●編集操作	
文頭に移動	Ctrl + Alt + ◀ or ▲
文末に移動	Ctrl + Alt + ▶ or ▼
単語単位でカーソル移動	Ctrl + ◀ or ▶
カーソル位置から文頭までを選択	Ctrl + Alt + Shift + ◀
カーソル位置から文末までを選択	Ctrl + Alt + Shift + ▶
アウトライン	Ctrl + F1
グリッド	Ctrl + F3
フレーム	Ctrl + F4
行番号	Ctrl + F5
白黒反転	Ctrl + F6
単語登録	Ctrl + F7
行間切り替え	Ctrl + F9
ATOK 入力設定	Ctrl + F10
スクリーンショット	Ctrl + Shift + 3
リセット	Ctrl + Alt + Delete

MS-IME ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	Space / 変換 / ▼ / Ctrl + X
変換 / 前候補	Shift + Space / Shift + 変換 / ▲ / Ctrl + E
ひらがな (後) 変換	F6 / Ctrl + U
カタカナ (後) 変換	F7 / Ctrl + I
半角 (後) 変換	F8 / Ctrl + O
全角無変換 (後) 変換	F9 / Ctrl + P
半角無変換 (後) 変換	F10 / Ctrl + T
順次無変換後変換	Shift + 無変換
順次カタカナ後変換	無変換

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	Enter / Ctrl + M / Ctrl + Enter
部分確定	Ctrl + ▼ / Ctrl + N
変換取消	Backspace / Ctrl + H / Esc / Ctrl + Z
全文字削除	Esc / Shift + Esc / Ctrl + Z
前文字削除	Backspace / Ctrl + H / Shift + Backspace
1文字削除	Delete / Ctrl + G
カーソルを前へ移動	◀ / Shift + ▶ / Ctrl + S / Ctrl + K
カーソルを後ろへ移動	▶ / Shift + ▶ / Ctrl + D / Ctrl + L
カーソルを先頭へ移動	Ctrl + ▶ / Ctrl + E / ▲
カーソルを末尾へ移動	Ctrl + ▶ / Ctrl + X / ▼

●候補操作	
次の候補群を表示	Shift + ▼
前の候補群を表示	Shift + ▲

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	Shift + ◀ / Ctrl + K
文節の区切りを後ろへ移動	Shift + ▶ / Ctrl + L
注目文節を前へ移動	◀ / Ctrl + S
注目文節を後ろへ移動	▶ / Ctrl + D
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ◀ / Ctrl + A
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + ▶ / Ctrl + F

●機能操作	
日本語入力オン / オフ	半角/全角 / Caps
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
ATOK 入力設定	Ctrl + F10
入力文字種 (A / _A) 順次切替	Shift + 無変換
入力文字種 (あ / _あ) 順次切替	無変換
漢字入力モード順次切替	Alt + カタカナひらがな
入力文字種全角ひらがな (あ)	カタカナひらがな
入力文字種全角カタカナ (ア)	Shift + カタカナひらがな

ATOK ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	Space / Shift + Space / 変換 / Shift + 変換
変換 / 前候補	▲ / Ctrl + ▲
ひらがな (後) 変換	F6 / Ctrl + U
カタカナ (後) 変換	F7 / Ctrl + I
半角 (後) 変換	F8 / Ctrl + O
全角無変換 (後) 変換	F9 / Ctrl + P
半角無変換 (後) 変換	F10 / Ctrl + @

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	Enter / Ctrl + M
部分確定	▼ / Ctrl + N
変換取消	Backspace / Ctrl + H
全文字削除	Esc / Ctrl + [
前文字削除	Backspace / Ctrl + H
1文字削除	Delete / Ctrl + G
カーソルを前へ移動	◀ / Ctrl + K
カーソルを後ろへ移動	▶ / Ctrl + L
カーソルを先頭へ移動	Ctrl + ◀
カーソルを末尾へ移動	Ctrl + ▶

●候補操作	
次の候補群を表示	変換
前の候補群を表示	Shift + 変換

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	◀ / Ctrl + K
文節の区切りを後ろへ移動	▶ / Ctrl + L
注目文節を前へ移動	Shift + ◀
注目文節を後ろへ移動	Shift + ▶
注目文節を先頭へ移動	Ctrl + ◀
注目文節を末尾へ移動	Ctrl + ▶

●機能操作	
日本語入力オン / オフ	半角/全角 / Caps / 変換
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
ATOK 入力設定	Ctrl + F10
英字順次切替 (A / _A / あ)	Shift + 無変換
カナ順次切替 (ア / _ア / あ)	Ctrl + 無変換
漢字入力モード順次切替	Alt + カタカナひらがな
半角無変換入力 (A) オン / オフ	無変換

ローマ字入力表

あ	あ	い	う	え	お	
	A	I YI	U WU WHU	E	O	
	あ	い	う	え	お	
	LA XA	LI LYI XI XYI	LU XU	LE LYE XE XYE	LO XO	
				いえ		
				YE		
	うあ	うい		うえ	うお	
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO	
	う*あ	う*い	う*	う*え	う*お	
	VA	VI VYI	VU	VE VYE	VO	
	う*や		う*ゆ		う*よ	
	VYA		VYU		VYO	
	か	か	き	く	け	こ
		KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
きゃ		きい	きゅ	きえ	きよ	
KYA		KYI	KYU	KYE	KYO	
くあ		くい	くう	くえ	くお	
QA QWA KWA		QI QWI QYI	QUWU	QE QWE QYE	QO QWO	
くや			くゆ		くよ	
QYA			QYU		QYO	
が		が	ぎ	ぐ	げ	ご
		GA	GI	GU	GE	GO
	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ	
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO	
	ぐあ	ぐい	ぐう	ぐえ	ぐお	
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO	

さ	さ	し	す	せ	そ	
	SA	SI CI SHI	SU	SE CE	SO	
	しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ	
	SYA SHA	SYI	SYU SHU	SYE SHE	SYO SHO	
	すあ	すい	すう	すえ	すお	
	SWA	SWI	SWU	SWE	SWO	
	ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
		ZA	JI ZI	ZU	ZE	ZO
		じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
		JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
た		た	ち	つ	て	と
		TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
				っ		
				LTSU LTU XTSU XTU		
		ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
		TYA CHA CYA	TYI CYI	TYU CHU CYU	TYE CHE CYE	TYO CHO CYO
	つあ	つい		つえ	つお	
	TSA	TSI		TSE	TSO	
	てや	てい	てゅ	てえ	てよ	
	THA	THI	THU	THE	THO	
とあ	とい	とう	とえ	とお		
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO		

だ	だ	ぢ	づ	で	ど	
	DA	DI	DU	DE	DO	
	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ	
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO	
	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ	
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO	
	どあ	どい	どう	どえ	どお	
	DWA	DWI	DWU	DWE	DWO	
	な	な	に	ぬ	ね	の
		NA	NI	NU	NE	NO
にゃ		にい	にゅ	にえ	によ	
NYA		NYI	NYU	NYE	NYO	
は	は	ひ	ふ	へ	ほ	
	HA	HI	HU	HE	HO	
	ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひよ	
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO	
	ふあ	ふい	ふう	ふえ	ふお	
	FA	FI	FU	FE	FO	
	FWA	FWI	FWU	FWE	FWO	
	ふいゃ		ふいゅ		ふいよ	
	FYA		FYU		FYO	
	ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA		BI	BU	BE	BO	
びゃ		びい	びゅ	びえ	びよ	
BYA		BYI	BYU	BYE	BYO	
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	
	PA	PI	PU	PE	PO	
	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ	
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO	
ま	ま	み	む	め	も	
	MA	MI	MU	ME	MO	
	みゃ	みい	みゅ	みえ	みよ	
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO	

や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO
	ゃ		ゅ		ょ
ら	LYA		LYU		LYO
	XYA		XYU		XYO
	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO	
わ	わ				を
	WA				WO
ん	ん				
	NN				
	N'XN				

単語登録に使えない文字

「読み」登録に使えない文字

半角	全角	備考
空白	空白	
!	!	
"	"	ダブルクォート
'	'	クォート
((
))	
,	,	カンマ
.	.	ピリオド
?	?	
[[
¥	¥	
]]	
^	^	ハット
`	`	バッククォート
{	{	
		パイプ
}	}	
~	~	チルダ
。	。	句点
「	「	
」	」	
、	、	読点

その他、漢字や『』① ± ☆ のような、半角コード（数字、記号、アルファベット、カタカナ）に変換できない記号など。

「読み」登録の先頭に使えない文字

半角カタカナ	全角カタカナ	ひらがな	備考
ヲ	ヲ	を	
ア	ア	あ	拗音
イ	イ	い	
ウ	ウ	う	
エ	エ	え	
オ	オ	お	
ヤ	ヤ	や	
ユ	ユ	ゆ	
ヨ	ヨ	よ	
ツ	ツ	つ	促音
-	ー	ー	長音
ン	ン	ん	
	𛄀	ゐ	旧仮名づかい
	𛄁	ゑ	
	カ		
	ケ		
	ワ	わ	
ゝ	ゝ	ゝ	濁音
゜	゜	゜	半濁音

故障かなと思ったら

■ 電源ボタンを押しても画面に何も表示されない

電池の向きは正しくセットされていますか？

電池の向きが逆にセットされていると電源は入りません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

→ 12 ページ「電池をセットする（別売り）」

リセットスイッチは押しましたか？

コイン電池と、単 3 形電池を同時に交換する場合は、リセットが必要です。電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合は、リセットスイッチを押してください。

ただし、リセットスイッチを押すと未保存の文書は消去されます。（保存済みの文書は消去されません。）

単 3 形電池が消耗していませんか？

消耗した単 3 形電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しいアルカリ乾電池と交換するか、十分に充電したエネルギーパックをセットしてください。

→ 12 ページ「電池をセットする（別売り）」

■ 電源が落ちる

オートパワーオフ機能ではありませんか？

オートパワーオフ機能を設定している場合、micro USB ケーブル未接続状態で一定時間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、画面の表示が消えます。初期設定では 5 分間操作をしないと電源が切れるように設定されています。

→ 102 ページ「オートパワーオフを設定する」

■ フリーズする、操作ができない

単 3 形電池が消耗していませんか？

本機では画面に電子ペーパーを使用しています。消耗した単 3 形電池を使用していると、電子ペーパーの特性上、画面に表示を残したまま電池切れになっており、フリーズしているように見える場合があります。新しいアルカリ乾電池と交換するか、十分に充電したエネルギーパックをセットした後、リセットボタンを押してください。

→ 12 ページ「電池をセットする（別売り）」

パワーオフ画面が「編集画面」に設定されていませんか？

パワーオフ画面を編集画面に設定している場合、電源オフ時でも編集画面が表示されます。電源ボタンを押して、電源を入れてみてください。

→ 104 ページ「パワーオフ画面を設定する」

■ 画面表示に時間がかかる、画面表示が薄い

極端に寒い場所では表示に時間がかかることがあります。また寒い場所でご使用になると画面表示が薄くなることがあります。

■ パソコンにポメラが認識されない

「PC リンク」は設定されていますか？

本機とパソコンを接続したときは、「PC リンク」を設定しないと、パソコンは本機を認識しません。メニュー画面で「ツール」 - 「PC リンク」を設定してください。

→ 76 ページ「パソコンと接続する」

micro USB ケーブルはしっかり接続されていますか？

micro USB ケーブルの両端を本機とパソコンの USB 端子にしっかりと接続してください。

パスワードが設定されていませんか？

パスワードが設定されている場合は、PC リンク開始時に正しいパスワードを入力しないとパソコンに認識されません。正しいパスワードを入力するか、メニュー画面の「設定」 - 「パスワード」からパスワード設定を解除してください。

USB ハブを使用していませんか？

USB ハブによっては電源供給ができないなどの原因で接続できないことがあります。USB ハブを使用せずにパソコンと直接接続してください。

充電専用ケーブルをお使いではないですか？

データ転送用の micro USB ケーブルをお使いください。

■ SD カードがポメラで認識されない

デジタルメモ「ポメラ」DM30 の最新の動作確認済み SD カードの情報は弊社 HP にてご確認ください。

<http://www.kingjim.co.jp/support/pomera/dm30>

索引

記号

.txt ファイル (テキスト ファイル)	52,78
▲ / ▼ / ◀ / ▶ (カーソル) キー	21
▲ / ▼ / ◀ / ▶ (カーソル) での 範囲選択	30

英数字

Alt (オルト) キー	21,116
atok.dic ファイル (辞書ファイル)	47
ATOK オプション	25,48
ATOK ショートカットキー	130
ATOK 入力設定	28,94
ATOK パレット	11,93
Backspace (バックスペース) キー	21
Caps Lock アイコン	11,125
Ctrl (コントロール) キー	20,116
Delete (デリート) キー	21
Enter (エンター) キー	21,22
Esc (エスケープ) キー	20,22
F1 ~ F12 (ファンクション) キー	21
FlashAir	26,81
Help (ヘルプ) キー	20
Insert (インサート) キー	21
Language	29,118
Menu (メニュー) キー	20,22
micro USB ケーブル	76
micro USB ポート	10
MS-IME ショートカットキー	128
PC 版 ATOK 辞書	25,48
PC リンク	26,76
QR コード	26,69
SD カードスロット	10
SD カードのフォーマット	122
SD カードをセットする (別売り)	15
Shift_JIS コード	25,41
Shift (シフト) キー	20,116
Space (スペース) キー	21
Tab (タブ) キー	20

あ

アウトライン	27,84
アウトライン見出し	85
アップデート	124

インポート	25,47
上書き保存	23
エクスポート	25,46
エネルギー	12
オートパワーオフ設定	19,29,102
オープンパワーオン設定	19,29,103

か

カーソル位置	28,97
画面	6,10
カレンダー	26,71
キー設定	29,112
キーバインド	115
キーフット	16
キーボードの基本操作	20
キーボードを閉じる	17
キーボードを開く	16
キーロック	116
キーロックアイコン	11,116
キー割付	112
行間サイズ	28,96
行指定ジャンプ	25,35
行番号	27,89
切り替え	24
切り取り	24
句読点変換	28,99
グリッド	27,87
検索	25,32,62
コイン電池の交換について	13
コピー	24

さ

削除	24
時刻表示	11
仕様	140
ショートカットキー一覧	125
ショートカットキーを 入れ替える	29,114
書式	28
白黒反転	27,91
数字キー	20
ステータスバー	11
すべて折りたたみ	24
すべて選択	24
すべて展開	24

制御文字	28,98
全画面表示	27,83

た

タイムスタンプ	25,42
縦書き	90
単語登録	25,43
単語登録に使えない文字	134
置換	25,33
次を検索	25
定型文	25,36,38
定型文の設定	36
定型文の挿入	38
テキストの編集	30
テキストを検索する	25,32
テキストを入力する	30
デフォルトファイル名	29,106
電源管理	29,101
電源ボタン	10
電源を入れる	18
電源を切る	19
電子辞書	26,64
電子ペーパー	6,10
電池カバー	10
電池カバーロック	10
電池残量アイコン	11
電池をセットする	12

な

名前をつけて保存	23,52
----------	-------

は

パスワード	29,108
パスワードを変更する	110
パソコンから取り外す	79
パソコンでポメラ内のファイルを 開く	77
パソコンと接続する	26,76
貼り付け	24
半 / 全漢字キー	20
日付・時刻	29,100
日付メモ	26,71
表示方向	27,90
表を作成する	26,74
表を編集する	75
ファイル管理	29,105
ファイルの移動	23,56

ファイルのコピー	23,56
ファイルの削除	58
ファイル名	11
ファイル名の変更	60
ファイルを検索する	62
ファイルを開く	23
フォーマット	29,120
フォルダの削除	58
フォルダ名の変更	60
フォルダを検索する	62
フォルダを作成する	54
付箋文	25,39
付箋文の位置にジャンプする	40
フレーム	27,88
ヘルプ	29,126
編集中アイコン	11
保証書	144
補助辞書	25,50
本機とパソコンの間でファイルを コピー / 移動する	26,78
本体情報	29,124
本体メモリのフォーマット	29,120

ま

メニュー画面でできること	23
メニュー画面の基本操作	22
メニュー画面を表示する	22
文字サイズ	28,95
文字情報表示	26
文字パレット	25,41

や

やり直し	24
------	----

ら

リセットスイッチ	11
リチウムコイン電池	9
リネーム	60
リフレッシュ	92

仕様

本体

- キーボード : JIS 配列キーボード、キーピッチ 17mm
- 本体メモリ : 8GB (システム領域含む)
- 画面 : 6.0 インチ 電子ペーパー (解像度 800 × 600 ドット)
- インターフェイス : USB 2.0 (microB タイプ)
- 外形寸法 : 約 156 (W) × 126 (D) × 33 (H) mm (折りたたみ時)
約 286 (W) × 131 (D) mm (使用時)
- 質量 : 約 450g (電池含まず)
- 対応記録メディア : SD カード (最大容量 2GB)、
SDHC カード (最大容量 32GB)
- ※デジタルメモ「ポメラ」DM30 の最新の動作確認済み
SD カードの情報は、弊社 HP にてご確認ください。
<http://www.kingjim.co.jp/support/pomera/dm30>

電源

- 電源 : 単 3 形アルカリ乾電池 × 2 本 (別売り)、
または単 3 形エネループ × 2 本 (別売り)
- 電池寿命 : 約 20 時間
- ※2 時間キー入力 / 2 時間待機状態での換算時。電池寿命
は使用環境や設定などで変化します。
- バックアップ電源 : リチウムコイン電池 (CR2032 × 1)

動作環境

温度 : 5 ~ 35 °C 湿度 : 30 ~ 80 % (非結露)

保存環境

温度 : -10 ~ 55 °C 湿度 : 5 ~ 80 % (非結露)

PC リンク対応 OS

Windows 7 以降 (32/64bit 版) 各日本語版 / Mac OS X 10.10 以降

※ 最新の対応 OS につきましては、弊社 HP をご参照ください。

<http://www.kingjim.co.jp/support/pomera/dm30>

搭載辞書

「明鏡国語辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」

※「MX シリーズ」は、大修館書店が書籍出版の辞書を元に、モバイル端末用に再編集したものです。

アフターサービス

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、修理・検査をおこなうと、保存されているファイル・辞書登録や学習内容などが消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー
お客様相談室 ☎0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102

携帯電話からの場合 0570-06-4759 ※通話料お客様負担

受付時間:平日(月～金曜日) 午前 9:00～午後 5:30



アンケート実施中

<http://kj-q.com>

抽選で謝礼を差し上げます

※接続料・通信料は
お客様負担となります。

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから ▶ <http://kingjim.jp/user/>

保証規定 / 保証書

■保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げ販売店、または取扱店までお持ちください。当社が無償で修理致します。なお、修理・検査をおこなうと保存されたデータは消去されます。修理をお受けになる場合には、データのバックアップをお取りください。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等で、本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼になれない場合には、キングジムお客様相談室へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや、お客様による修理または改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の浸（冠）水、塩害、液体かぶり、落下、衝撃、砂（泥）入り、圧力等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ホ) 本保証書の提示がない場合
 - (ヘ) 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合或いは字句を書き替えられた場合
5. 本体同梱付属品の修理は承っておりません。取扱店にてお買い求めください。
6. 保証期間内であるか否かにかかわらず、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、お客様が製品を使用することによって発生した間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他の無体財産に関する損害、使用利益、および得べかりし利益の喪失等に対して、当社は一切責任を負わず、また製品代金を限度額としてのみ、これを賠償する責を負うものとします。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
8. 本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

本保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理をお受けになる場合は、製品と本保証書をご持参の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

保証書	
製品名	「ポメラ」DM30
シリアルNo.	
保証期間	本体お買い上げ日より1ヶ年 お買い上げ日 年 月 日
お客様	お名前
	ご住所
	電話番号
販売店名	

（切り取り線）

デジタルメモ「ポメラ」DM30 取扱説明書

2018年 3月 第1版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

<http://www.kingjim.co.jp/>

 **KING JIM**